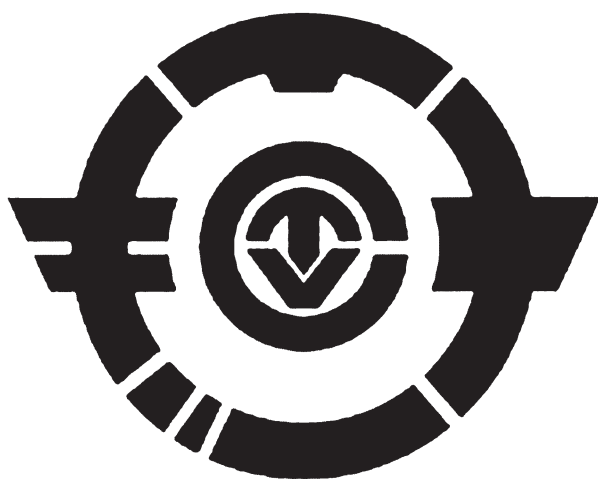
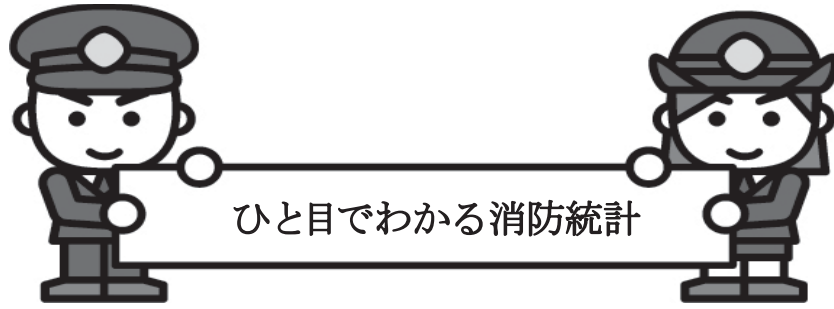


# 消 防 年 報

2022



稲敷広域消防本部



ひと目でわかる消防統計

面積 (R4. 4. 1)

550. 49Km<sup>2</sup>  
構成 3市3町1村

人口 (R4. 4. 1)

284, 034人

世帯数 (R4. 4. 1)

118, 818世帯

署所数 (R4. 4. 1)

消防本部 1  
消防署 5  
分署 2  
出張所 2

職員数 (R4. 4. 1)

定数 410人  
実員 401人

119番通報 (R3年)

16, 977件

消防車 (R4. 4. 1)

水槽付ポンプ車 11台  
(非常用水槽付ポンプ車2台含む)  
普通ポンプ車 9台

特殊車両 (R4. 4. 1)

はしご車 3台  
化学車 3台  
救助工作車 3台  
支援車 1台

救急車 (R4. 4. 1)

高規格救急車 18台  
(非常用救急車5台含む)

火災発生件数 (R3年)

111件

救急出場件数 (R3年)

12, 880件

救助出動件数 (R3年)

159件

防火対象物数 (R4. 4. 1)

7, 144棟

危険物施設数 (R4. 4. 1)

製造所 20施設  
貯蔵所 643施設  
取扱所 280施設

民間防火組織数 (R4. 4. 1)

幼年消防クラブ 18  
少年消防クラブ 2  
婦人消防クラブ 2

# はじめに

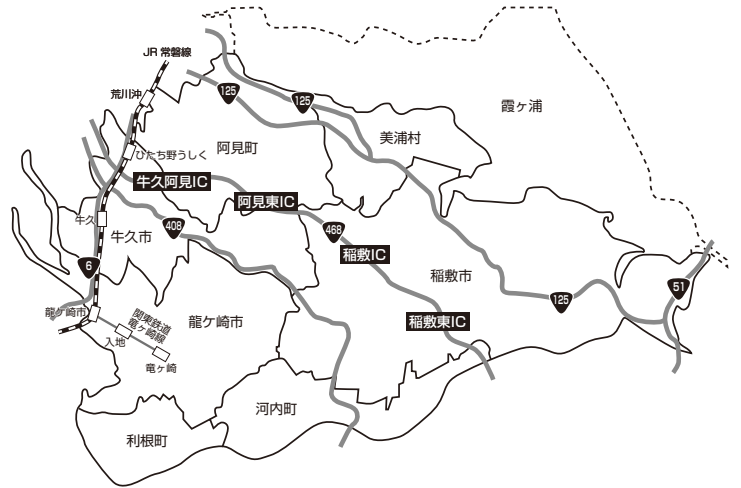
この年報は、稲敷広域消防の現勢及び令和 3 年中における消防業務に関する諸般の事項を集録し、消防事情を紹介するために編集しました。

また、本書における統計については、暦年を原則として作成したのですが、これらによらないものについては、それぞれ記載した年月日及び期間により作成しました。

令和 4 年 8 月

稲敷広域消防本部

## 圏域の位置



## 表紙説明

「組合章」で、円形はイナシキの円満団結を示し、中心にはC、T、V（市、町、村）を配し、左右の翼は、より一層の飛躍、発展を祈念しています。

# 目 次

---

令和3年度の主な行事・事業等	1
稲敷地方広域市町村圏の概要	3
稲敷広域消防の沿革	4
令和3年度更新車両等	8
総務関係	
稲敷広域消防の組織	10
消防本部事務分掌	11
消防署・分署事務分掌	13
消防本部・消防署所庁舎一覧表	14
消防職員配置状況	15
消防職員階級別勤続年数	16
消防職員階級別年齢	17
職員教育・研修実施状況	18
組合予算・相互応援協定状況	19
予防関係	
機動査察隊の紹介	20
予防広報活動の紹介	20
民間防火組織の活動紹介	20
市町村別危険物施設状況	21
危険物製造所等許可状況	21
危険物規制事務等手数料	21
市町村別防火対象物現況	22
法届出状況	23
条例届出状況	24
中高層建築物	25
消防同意事務状況	26
民間防火組織一覧	27
警防関係	
消防機動力	28
消防車両等の配置状況	30
主な消防器具等	32
消防隊の主な訓練及び講習会等	33
総出場状況	36
所属別火災出場状況	37
救助事故種別出動件数及び活動件数	38
救助事故種別救助人員及び車両搬送人員	38
救助事故種別出動人員及び活動人員	38
救助事故種別発生場所別出動件数	39
救助事故種別発生場所別活動件数	39
救助事故種別発生場所別救助人員	39
救助事故種別出動車両台数	40

救助事故種別活動車両台数	40
救助隊員の訓練実施状況	40
圏域内市町村別消防水利施設設置状況	41
通信関係	
通信指令の業務	42
指令システム	42
通信系統	43
通信施設状況	44
無線局一覧表	45
119 番回線別着信件数	49
119 通報着信件数	49
緊急通報システム受信状況	50
N E T 119 受信状況	50
月別風速・気温・湿度・雨量調	51
火災関係	
火災調査	52
火災統計上の参考事項	53
火災概況	55
市町村別火災概要	56
月別火災種別	57
曜日別火災種別	57
時間帯別火災種別	57
火災種別出火原因	58
過去 5 年間の火災原因状況	59
過去 10 年間の火災件数推移	59
救急関係	
各種救急訓練・講習会の紹介	60
ドクターヘリ及びドクターカーの紹介	61
救急講習会の紹介	62
稲敷地区メディカルコントロール協議会の紹介	62
市町村別救急出動状況	63
月別救急出動状況	63
事故種別年齢区分別搬送状況	64
事故種別傷病程度別搬送状況	64
救急隊員の行った応急処置件数調	65
市町村別救急出動状況推移	66
救急出場件数推移	67
救命講習実施状況	67
救急蘇生の状況	68
管内消防団関係	
管内消防団の状況	69

## 令和3年度の主な行事・事業等

### 4月

- ◆ 水防指導員による水防工法訓練（小貝川堤防）
- ◆ 利根川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会幹事会（WEB開催）
- ◆ 霞ヶ浦流域大規模氾濫に関する減災対策協議会幹事会（WEB開催）

### 5月

- ◆ 第1回消防運営委員会（書面開催）
- ◆ 稲敷地方危険物安全協会総会（書面開催）
- ◆ 稲敷地区MC協議会 教育研修部会会議（書面開催）
- ◆ 稲敷地区MC協議会 理事会・総会（書面開催）
- ◆ 人事評価研修

### 6月

- ◆ 東京オリンピック・パラリンピック消防応援事前訓練（鹿嶋市）
- ◆ 利根川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会（書面開催）

### 7月

- ◆ 消防職員委員会
- ◆ 東京オリンピック・パラリンピック聖火リレー特別警備（龍ヶ崎市・牛久市）
- ◆ 東京オリンピック・パラリンピック消防応援
- ◆ 指揮シミュレーション訓練

### 8月

- ◆ 職員健康診断
- ◆ 産業医巡視・健康相談（龍ヶ崎署）
- ◆ 東京オリンピック・パラリンピック消防応援

### 9月

- ◆ 産業医巡視・健康相談（牛久署）
- ◆ 第45回茨城県救急医学会（WEB開催）
- ◆ 多数傷病者対応訓練
- ◆ 水災対応訓練

### 10月

- ◆ 第2回消防運営委員会（書面開催）
- ◆ 産業医巡視・健康相談（いなほ署）
- ◆ 第1回警防技術効果確認訓練

## 11 月

- ◆ 人事評価研修
- ◆ 産業医巡視・健康相談（阿見署）
- ◆ 第1回稲敷地区MC協議会基本特定行為再講習会

## 12 月

- ◆ 産業医巡視・健康相談（消防本部・龍ヶ崎西部所）
- ◆ 警防技術訓練

## 1 月

- ◆ 震災対応訓練
- ◆ 第30回全国救急隊員シンポジウム（WEB開催）

## 2 月

- ◆ 職員健康診断
- ◆ 高速自動車道事故対応訓練（つくば市）
- ◆ 第2回警防技術効果確認訓練

## 3 月

- ◆ 令和3年度救急活動・基本特定行為講習会

## 稲敷地方広域市町村圏の概要

本圏域は、茨城県の南端に位置し、龍ヶ崎市、牛久市と東に位置する稲敷市を中心に3市3町1村によって構成され、人口は約28万4千人、総面積は約550k㎡に及んでいます。

総面積のうち、約65%が稲敷台地と呼ばれる標高25m前後の台地で、霞ヶ浦、牛久沼等の湖沼、そして利根川、小貝川等の1級河川及びその支流が数多く流れ、東部は県内有数の穀倉地帯として整備の進んだ水田が広がる一方、西部は都心からの距離50～70kmをJR常磐線が結び、各駅周辺を中心に開発が進んでおります。また、首都圏中央連絡自動車道等の開通に伴い、各地に工業団地の開発が行われ、様相変化が著しい状況にあります。

こうしたなかで当消防本部は、圏域住民のため安全で安心な街づくりに、防災の担い手として努力しております。

## 構成市町村面積・人口・世帯数

令和4年4月1日現在

市町村別	面積 (k㎡)	人口 (人)	世帯数 (戸)
龍ヶ崎市	78.59	75,712	32,606
牛久市	58.92	84,085	35,715
稲敷市	205.81	37,862	14,556
阿見町	71.40	49,224	20,971
利根町	24.86	15,068	6,278
河内町	44.30	7,866	2,863
美浦村	66.61	14,217	5,829
合計	550.49	284,034	118,818

(茨城県政策企画部統計課調)

## 稲敷広域消防の沿革

龍ヶ崎市、牛久町、江戸崎町、利根町、東村、河内村、新利根村、美浦村、桜川村の9市町村は、昭和47年8月15日の広域市町村整備配置要綱により広域市町村圏の指定をうけたので、同要綱に基づいて総合計画を策定し、昭和48年12月17日、茨城県知事より稲敷地方広域市町村圏事務組合の設立を条件付きで許可された。しかし、消防の特殊性を鑑み昭和49年6月10日消防条項を規約に組入れ昭和50年4月1日、消防本部を発足する。

- 昭和50年 4月1日 1市3町5村をもって稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部を発足し、既設の龍ヶ崎消防署を核として業務を開始する。消防職員37名増員 職員数97名となる。初代消防長 岡田昭守 就任。
- 7月1日 江戸崎消防署並びに牛久消防署を開設し、3署とする。
- 10月1日 消防職員1名増員、職員数98名となる。
- 昭和51年 4月1日 消防職員25名増員、職員数123名となる。
- 4月2日 先に開設した牛久消防署庁舎、鉄筋コンクリート造一部2階建て、延床面積441.50㎡が完成し移転する。
- 7月1日 江戸崎消防署東出張所を開設し、3署1出張所とする。  
消防職員1名増員 職員数124名となる。
- 8月10日 消防長 宮本 衛 となる。
- 12月17日 先に開設した江戸崎消防署庁舎、鉄筋コンクリート造一部2階建て、延床面積458.55㎡が完成し移転する。
- 昭和52年 4月1日 消防職員35名増員、職員数158名となる。
- 7月1日 龍ヶ崎消防署利根出張所を開設し、3署2出張所とする。
- 12月6日 先に開設した江戸崎消防署東出張所庁舎、鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積290.00㎡が完成し移転する。
- 昭和53年 1月20日 江戸崎消防署美浦出張所を開設 鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積363.84㎡、3署3出張所とする。
- 4月1日 消防職員20名増員、職員数178名となる。
- 7月1日 龍ヶ崎消防署新利根出張所及び江戸崎消防署桜川出張所を開設し、3署5出張所とする。消防職員7名増員、職員数185名となる。
- 昭和54年 1月1日 消防職員1名増員、職員数186名となる。
- 1月25日 先に開設した龍ヶ崎消防署利根出張所庁舎、鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積254.65㎡が完成し移転する。
- 4月1日 消防職員17名増員、職員数203名となる。
- 7月1日 龍ヶ崎消防署河内出張所を開設し、3署6出張所とする。
- 昭和55年 1月1日 消防職員2名増員、職員数205名となる。
- 2月13日 先に開設した江戸崎消防署桜川出張所庁舎、鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積289.53㎡が完成し移転する。

	2月29日	先に開設した龍ヶ崎消防署新利根出張所庁舎、鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積 291.91 m <sup>2</sup> が完成し移転する。
昭和 56 年	3月2日	先に開設した龍ヶ崎消防署河内出張所庁舎、鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積 305.50 m <sup>2</sup> が完成し移転する。
	3月27日	消防本部庁舎、鉄筋コンクリート造 3 階建て、延床面積 970.21 m <sup>2</sup> が完成し移転する。
	10月1日	消防長 仲山 徹となる。
	12月15日	牛久消防署庁舎 車庫、仮眠室 104.00 m <sup>2</sup> を増築する。
昭和 57 年	4月1日	消防職員 8 名増員 職員数 205 名となる。
昭和 58 年	3月14日	龍ヶ崎消防署河内出張所に救助訓練塔 A、B、C 塔が完成する。
	10月1日	消防長事務取扱 宮本 衛となる。
昭和 59 年	3月30日	茨城県防災行政無線が消防本部に設置される。
	8月15日	消防長事務取扱 岡田昭守となる。
昭和 60 年	3月1日	救急指令装置、地図検索装置を設置、通信指令室を開設する。
	4月1日	消防本部の組織規則の一部を改正し消防本部の機構を 3 課 10 係とする。
昭和 61 年	6月1日	牛久町が市制を施行し牛久市となり、構成市町村は 2 市 2 町 5 村となる。
昭和 62 年	4月1日	消防職員 27 名増員 職員数 225 名となる。 龍ヶ崎消防署利根出張所を利根消防署として開設し、職員 17 名を配置する。 龍ヶ崎消防署西部出張所を開設 鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積 319.75 m <sup>2</sup> 、職員 11 名を配置する。 牛久消防署西部出張所を開設 鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積 339.67 m <sup>2</sup> 、職員 11 名を配置する。
昭和 63 年	1月31日	利根消防署庁舎 65.2 m <sup>2</sup> を増築する。
平成 3 年	4月1日	消防職員 18 名増員 職員数 235 名となる。
	12月12日	通信指令装置及び車両に消防用無線全国共通波を整備する。
平成 4 年	4月1日	消防職員 14 名増員 職員数 248 名となる。
	6月5日	消防長事務取扱 内藤謙吉となる。
	8月6日	消防長事務取扱 海老原龍生となる。
平成 5 年	4月1日	消防長 海老原淳二となる。
平成 6 年	4月1日	消防職員 13 名増員 職員数 259 名となる。
平成 7 年	4月1日	消防本部の組織規則を一部改正し、本部の機構を 5 課 13 係とする。また、消防署の組織規程を全部改正する。 消防職員 15 名増員 職員数 273 名となる。
	9月5日	消火隊 3 隊を含む計 6 隊を緊急消防援助隊として登録する。
	10月6日	消防本部 20 周年記念式典開催
平成 8 年	4月1日	消防職員 16 名増員 職員数 287 名となる。
	6月1日	河内村及び新利根村が町制を施行し河内町、新利根町となり、構成市町村は、2 市 4 町 3 村となる。
	9月1日	東村が町制を施行し東町となり、構成市町村は、2 市 5 町 2 村となる。
平成 9 年	4月1日	消防職員 16 名増員 職員数 299 名となる。

- 平成 10 年 3 月 31 日 利根消防署庁舎 23.55 m<sup>2</sup>を増築する。  
4 月 1 日 消防職員 11 名増員 職員数 309 名となる。
- 平成 11 年 3 月 23 日 江戸崎消防署庁舎 406.07 m<sup>2</sup>を増築する。  
4 月 1 日 消防長 松本育之となる。消防職員 12 名増員 職員数 318 名となる。
- 平成 12 年 4 月 1 日 消防職員 6 名増員 職員数 321 名となる。
- 平成 13 年 4 月 1 日 消防長 関口忠夫となる。消防職員 7 名増員 職員数 322 名となる。
- 平成 14 年 4 月 1 日 消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 4 課 11 係とする。消防職員 2 名増員 職員数 320 名となる。
- 平成 15 年 4 月 1 日 消防長 酒井保之となる。
- 平成 16 年 4 月 1 日 消防長 長田保一となる。消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 10 係とする。  
消防署の組織に関する規程の一部を改正し、消防署の機構を 3 課とする。  
消防職員 4 名増員 職員数 317 名となる。
- 平成 17 年 3 月 22 日 江戸崎町、東町、新利根町、桜川村の 4 町村合併により稲敷市誕生。  
4 月 1 日 消防職員 5 名増員 職員数 322 名となる。  
7 月 1 日 消防署の組織に関する規程の一部を改正し、消防署の機構を 4 課とする。
- 平成 18 年 3 月 15 日 龍ヶ崎消防署新庁舎 鉄骨造 2 階建て、延床面積 1,967.64 m<sup>2</sup>が完成し移転する。消防本部通信指令課に高機能通信指令装置が更新となる。  
4 月 1 日 消防長 川崎榮一となる。
- 平成 20 年 4 月 1 日 消防長 仲山松男となる。  
消防職員 11 名増員 職員数 322 名となる。
- 平成 21 年 4 月 1 日 牛久消防署東部出張所を開設 鉄骨造平屋建て、延床面積 575.0 m<sup>2</sup>、職員 16 名を配置する。同西部出張所を閉庁する。  
消防長 川井 寛となる。  
消防職員 11 名を採用 職員数 327 名となる。
- 平成 22 年 4 月 1 日 消防長 本谷正一となる。  
消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 11 係とする。  
消防職員 8 名を採用 職員数 329 名となる。  
江戸崎消防署桜東分署を開設 鉄骨造平屋建て、延床面積 650.50 m<sup>2</sup>、職員 25 名を配置する。  
江戸崎消防署東出張所、同桜川出張所を閉庁する。  
7 月 1 日 高度救助隊（スーパーレスキュー稲敷）発足、隊員 14 名を龍ヶ崎消防署に配置する。
- 平成 23 年 1 月 13 日 牛久消防署庁舎 仮眠室 271.88 m<sup>2</sup>を増築する。  
4 月 1 日 消防職員 9 名を採用 職員数 332 名となる。
- 平成 24 年 4 月 1 日 消防職員 11 名を採用 職員数 333 名となる。  
龍ヶ崎消防署新河分署を開設 鉄骨造 2 階建て、延床面積 719.79 m<sup>2</sup>、職員 25 名を配置する。  
龍ヶ崎消防署河内出張所、江戸崎消防署新利根出張所を閉庁する。

- 平成 25 年 4 月 1 日 消防長 酒井健生となる。  
消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 12 係とする。  
消防職員 14 名を採用 職員数 334 名となる。
- 平成 26 年 4 月 1 日 消防職員 16 名を採用 職員数 331 名となる。
- 平成 27 年 4 月 1 日 阿見町消防本部との広域化を実施。消防本部の名称を稲敷広域消防本部とする。  
消防長 石塚伸也となる。  
消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 1 隊 13 係とする。  
消防職員 19 名を採用 職員数 394 名となる。  
いなほ消防署開設 鉄骨造 2 階建て、延床面積 1,868.26 m<sup>2</sup>、職員 52 名を配置する。  
江戸崎消防署、同美浦出張所を閉庁する。
- 平成 28 年 4 月 1 日 消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 1 隊 15 係とする。  
消防職員 15 名を採用 職員数 401 名となる。
- 平成 29 年 4 月 1 日 消防長 澁谷明宏となる。  
消防職員 25 名、再任用職員 5 名を採用 職員数 394 名となる。
- 10 月 1 日 消防職員 2 名を採用 職員数 395 名となる。
- 平成 30 年 4 月 1 日 消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を 5 課 1 隊 15 係とする。  
消防職員 16 名、再任用職員 9 名を採用 職員数 396 名となる。
- 10 月 1 日 消防職員 7 名を採用 職員数 402 名となる。
- 令和元年 4 月 1 日 消防職員 18 名、再任用職員 7 名を採用 職員数 396 名となる。
- 10 月 1 日 消防職員 10 名を採用 職員数 406 名となる。
- 令和 2 年 4 月 1 日 消防職員 14 名、再任用職員 8 名を採用 職員数 401 名となる。
- 10 月 1 日 消防職員 11 名を採用 職員数 411 名となる。
- 令和 3 年 3 月 22 日 高機能消防指令センター装置を更新する。
- 4 月 1 日 消防長 坂本 操となる。  
消防職員 12 名、再任用職員 5 名を採用 職員数 405 名となる。
- 5 月 1 日 再任用職員 1 名を採用 職員数 406 名となる。
- 10 月 1 日 消防職員 7 名を採用 職員数 413 名となる。
- 令和 4 年 4 月 1 日 消防職員 7 名、再任用職員 1 名を採用 職員数 409 名となる。

## 令和 3 年度更新車両等

35m 級先端屈折式梯子付消防自動車



配置先：牛久消防署  
主な装備：先端屈折式  
自動放水銃  
インポーズカメラ  
全周囲カメラ

広報車



配置先：龍ヶ崎消防署西部出張所  
主な装備：ナビゲーション  
バックカメラ  
ドライブレコーダー

救助ボート（ウレタン式）



配備先：龍ヶ崎消防署  
諸元：定員 5 名  
重量 130 kg  
全長 3,600 mm  
全幅 1,700 mm  
内幅 800 mm

高規格救急自動車



配置先：龍ヶ崎消防署西部出張所

主な装備：酸素呼吸器

人工呼吸器

自動体外式除細動器

観察用モニター

高規格救急自動車



配置先：いなほ消防署

主な装備：酸素呼吸器

人工呼吸器

自動体外式除細動器

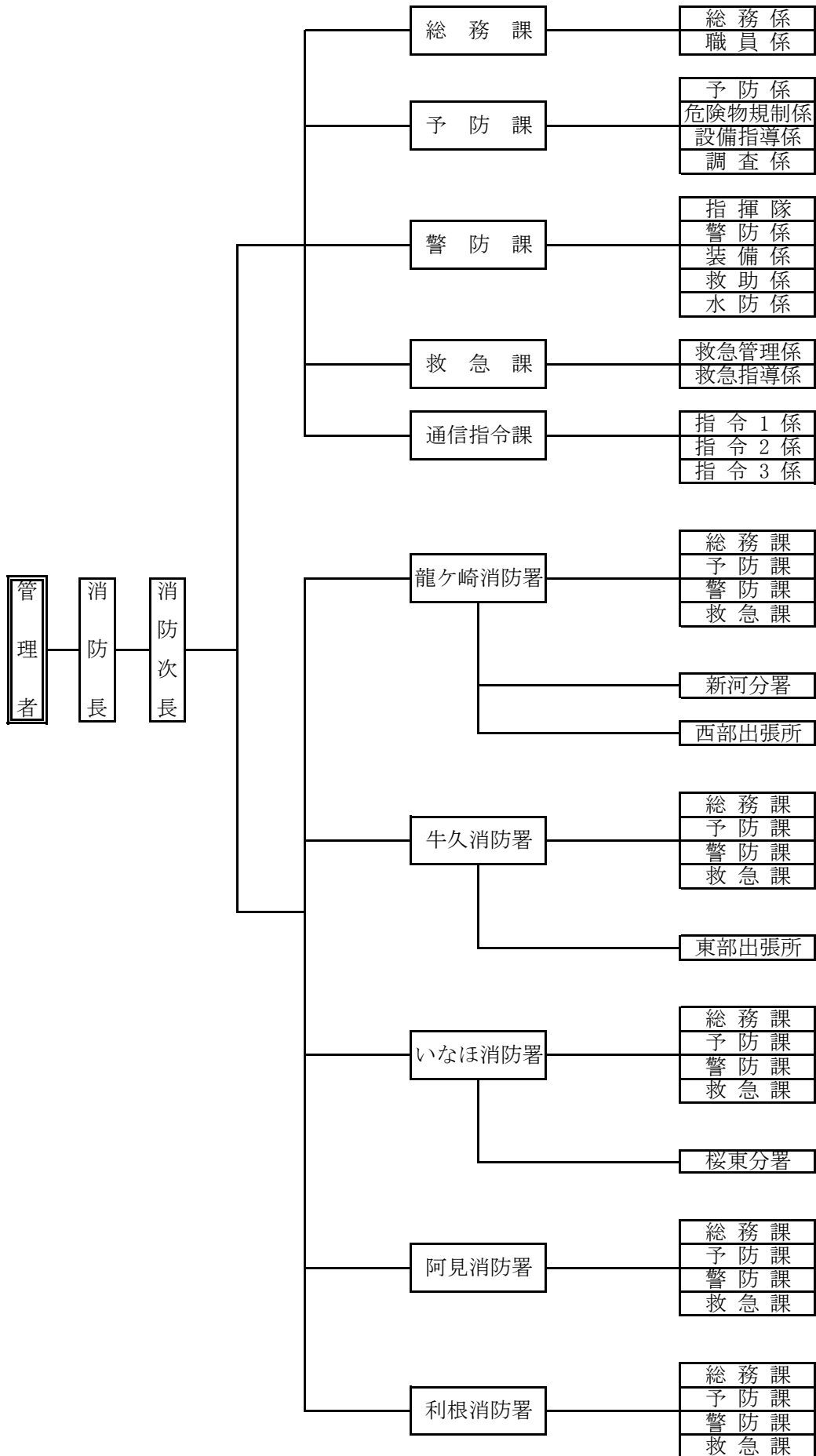
観察用モニター

# 総務

INASHIKI FIRE PROTECTION DISTRICT



# 稲敷広域消防の組織



# 消防本部事務分掌

## 総務課

- (1) 公印の管守に関する事。
- (2) 文書に関する事。
- (3) 職員の昇任、昇格に関する事。
- (4) 消防関係例規に関する事。
- (5) 消防施設の整備及び管理に関する事。
- (6) 職員の健康管理及び福利厚生に関する事。
- (7) 職員の任免、配置、服務、分限、懲戒、表彰その他人事に関する事。
- (8) 職員の給与、公務災害補償及び補償補填に関する事。
- (9) 研修計画及び管外消防との情報連絡に関する事。
- (10) 貸与品及び消耗品等に関する事。
- (11) 予算、決算及び経理に関する事。
- (12) 消防事務の企画及び事務管理に関する事。
- (13) 消防用財産の管理に関する事。
- (14) 組織及び制度に関する事。
- (15) 統計に関する事。
- (16) 他の課に属さない事。

## 予防課

- (1) 火災の予防に関する事。
- (2) 民間防火組織等の育成及び防火思想の普及に関する事。
- (3) 予防査察及び指導に関する事。
- (4) 広報及び広聴に関する事。
- (5) 罹災証明等に関する事。
- (6) 統計に関する事。
- (7) 防火管理者及び危険物取扱者に関する事。
- (8) 火災原因及び損害の調査に関する事。
- (9) 建築確認等の同意に関する事。
- (10) 消防用設備等の検査及び指導に関する事。
- (11) 消防対象物（危険物製造所等を除く）の使用の届出等に関する事。
- (12) 火災予防条例に基づく届出等に関する事。
- (13) 火気使用設備及び器具に関する事。
- (14) 危険物製造所等の許認可に関する事。
- (15) 危険物製造所等の火災予防措置に関する事。
- (16) 少量危険物、指定可燃物等の火災予防措置に関する事。
- (17) 液化石油ガス貯蔵取扱施設の保安上の措置に関する事。
- (18) 圧縮アセチレンガス等の届出に関する事。
- (19) 防火協力団体に関する事。

## 警防課

- (1) 災害現場活動の指揮に関する事。
- (2) 出場隊の運用・安全管理に関する事。

- (3) 災害情報の収集・管理に関する事。
- (4) 現場の観察及び効果並びに評定に関する事。
- (5) 警防計画及び演習、訓練に関する事。
- (6) 核燃料物質及び放射性同位元素、劇物、毒薬等の貯蔵取扱の届出に関する事。
- (7) 消防の相互応援に関する事。
- (8) 水火災その他災害出動及び連絡調整並びにこれらによる被害調査等に関する事。
- (9) 消防技術の研究及び指導に関する事。
- (10) 消防の教養、訓練等に関する事。
- (11) 地理水利の調査及び保守に関する事。
- (12) 都市計画等の消防施設設置に関する事。
- (13) 車両の安全運転管理及び交通事故に関する事。
- (14) 消防機械器具の整備及び管理に関する事。
- (15) 消防油脂類、消火薬剤及び消防用資器材の管理等に関する事。
- (16) 救助及び潜水業務に関する事。
- (17) 統計に関する事。
- (18) 水防事務に関する事。

## 救急課

- (1) 救急業務に係る調査及び研究に関する事。
- (2) 救急資器材、医薬品等の整備及び管理に関する事。
- (3) 救急車両の配備、維持管理等に関する事。
- (4) 救急活動技術の研究及び指導訓練に関する事。
- (5) 医療機関その他関係機関との連絡調整に関する事。
- (6) 感染防止に関する事。
- (7) ドクターヘリ等運用に関する事。
- (8) 茨城 DMAT 運用に関する事。
- (9) 救急要請受付時の口頭指導に関する事。
- (10) 患者等搬送事業に関する指導及び認定に関する事。
- (11) 応急手当普及業務に関する事。
- (12) 稲敷地区メディカルコントロール協議会に関する事。
- (13) 統計に関する事。
- (14) その他救急業務に関する事。

## 通信指令課

- (1) 消防緊急システムの企画、調整及び運営管理に関する事。
- (2) 通信技術の研究及び指導に関する事。
- (3) 出動指令に関する事。
- (4) 通信統制に関する事。
- (5) 各種災害関係情報の収集及び伝達に関する事。
- (6) 消防及び救急の相互応援指令に関する事。
- (7) 防災行政無線に関する事。
- (8) 緊急通報システムに関する事。
- (9) その他通信指令事務に関する事。

# 消防署・分署事務分掌

## 総務課

- (1) 公印の管守に関する事。
- (2) 文書に関する事。
- (3) 職員の研修及び訓練に関する事。
- (4) 職員の福利厚生及び健康管理に関する事。
- (5) 職員の服務、規律、願及び届に関する事。
- (6) 経理に関する事。(分署を除く。)

## 予防課

- (1) 火災予防思想の普及に関する事。
- (2) 予防査察及び指導に関する事。
- (3) 建築確認等の同意及び消防用設備等の検査に関する事。
- (4) 危険物、少量危険物、指定可燃物等の規制及び当該施設の査察に関する事。
- (5) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (6) 統計に関する事。
- (7) 防火管理者、消防設備士及び危険物取扱者に関する事。
- (8) 消防諸証明に関する事。
- (9) 防火協力団体に関する事。

## 警防課

- (1) 火災その他の災害の警戒及び防ぎょ活動(以下「消防活動」という。)に関する事。
- (2) 警防活動技術等の研修及び訓練に関する事。
- (3) 消防活動上支障となる物質等の調査及び防災指導に関する事。
- (4) 救急活動との連携に関する事。
- (5) 地理及び水利の調査に関する事。
- (6) 消防車両、機械器具、装備、資材等の点検整備及び保全に関する事。
- (7) 救助活動に関する事。
- (8) 救助技術の研修及び訓練に関する事。
- (9) 統計に関する事。
- (10) 消防団との連携に関する事。
- (11) 他の関係機関との連絡調整に関する事。

## 救急課

- (1) 救急活動に関する事。
- (2) 救急技術等の研修及び訓練に関する事。
- (3) 警防活動との連携に関する事。
- (4) 統計に関する事。
- (5) 医療機関その他関係機関との連絡調整に関する事。
- (6) 救急車両、資機材、医薬品等の点検管理に関する事。

消防本部・消防署所庁舎一覧表

区分 名称	所在地	建物構造	建物面積	竣工年月日
消防本部	龍ヶ崎市 3571番地の1	鉄筋コンクリート造 3階建	土地 917.50 m <sup>2</sup> 庁舎 970.21 m <sup>2</sup> 倉庫 67.16 m <sup>2</sup> 車庫 22.38 m <sup>2</sup>	昭和56年3月27日
龍ヶ崎消防署	龍ヶ崎市 1759番地	鉄骨造 2階建	土地 4,918.00 m <sup>2</sup> 庁舎 1,967.64 m <sup>2</sup> 防災倉庫 55.78 m <sup>2</sup>	平成18年3月15日
龍ヶ崎消防署 新河分署	河内町長竿 5765番	鉄骨造 2階建	土地 4,384.00 m <sup>2</sup> 庁舎 719.79 m <sup>2</sup> 倉庫 138.00 m <sup>2</sup> 防災倉庫 53.09 m <sup>2</sup>	平成24年3月24日
龍ヶ崎消防署 西部出張所	龍ヶ崎市馴柴町 1区23番地の2	鉄筋コンクリート造 平屋建	土地 1,490.00 m <sup>2</sup> 庁舎 319.75 m <sup>2</sup>	昭和62年3月12日
牛久消防署	牛久市栄町 4丁目1番地	鉄筋コンクリート造 2階建	土地 2,470.99 m <sup>2</sup> 庁舎 817.38 m <sup>2</sup>	昭和51年4月2日 昭和56年12月増築 平成23年1月増築
牛久消防署 東部出張所	牛久市久野町 798番地1	鉄骨造 平屋建	土地 2,477.14 m <sup>2</sup> 庁舎 575.00 m <sup>2</sup> 防災倉庫 59.60 m <sup>2</sup>	平成21年3月29日
いなほ消防署	稲敷市犬塚 1570番地2	鉄骨造 2階建	土地 11,697.45 m <sup>2</sup> 庁舎 1,868.26 m <sup>2</sup> 防災倉庫 350.00 m <sup>2</sup> 訓練塔(5階建) 180.00 m <sup>2</sup>	平成27年3月30日
いなほ消防署 桜東分署	稲敷市上須田 355番1	鉄骨造 平屋建	土地 5,578.00 m <sup>2</sup> 庁舎 650.50 m <sup>2</sup> 倉庫 100.00 m <sup>2</sup> 防災倉庫 52.67 m <sup>2</sup>	平成22年2月11日
阿見消防署	阿見町若栗 3337番地	鉄筋コンクリート造 2階建	土地 4,402.00 m <sup>2</sup> 庁舎 1,358.83 m <sup>2</sup> 訓練塔A 96.00 m <sup>2</sup> 訓練塔B 121.00 m <sup>2</sup>	昭和58年7月10日
利根消防署	利根町布川 2073番地	鉄筋コンクリート造 平屋建	土地 2,522.43 m <sup>2</sup> 庁舎 343.40 m <sup>2</sup> 倉庫 29.43 m <sup>2</sup>	昭和54年1月25日 昭和63年1月増築 平成10年3月増築

## 消 防 職 員 配 置 状 況

令和4年4月1日現在

階級 所属		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
		消 防 本 部	消 防 長	1							
	消 防 次 長		1								1
	総 務 課		1		3	3	1	1			9
	予 防 課		1		2	4					7
	警 防 課		1	1	9	3					14
	救 急 課		1		3	1					5
	通信指令課			2	7	5	3				17
	小 計	1	5	3	24	16	4	1			54
龍ヶ崎消防署			1	1	12	9	12	10	17		62
	新河分署			1	4	6	6	4	4		25
	西部出張所				3	4	4	4	3		18
	小 計		1	2	19	19	22	18	24		105
牛久消防署				2	9	10	11	11	19		62
	東部出張所				2	6	3	3	3		17
	小 計			2	11	16	14	14	22		79
いなほ消防署			1	1	9	9	10	8	17		55
	桜東分署			1	3	7	6	3	5		25
	小 計		1	2	12	16	16	11	22		80
阿見消防署			★1	1	9	8	10	9	18		56
利根消防署				2	6	4	5	4	6		27
合 計		1	8	12	81	79	71	57	92		401

★ 消防次長を兼務

※ 再任用職員1名、派遣等職員7名を除く。

## 消防職員階級別勤続年数

令和4年4月1日現在

階級 勤続年数	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	計
1 年未満								14		14
1 年以上								23		23
2 "								21		21
3 "							1	21		22
4 "							7	9		16
5 "							18	4		22
6 "							12			12
7 "						7	11			18
8 "						13	2			15
9 "						13	2			15
10 "						9	1			10
11 "						4	1			5
12 "					5	2	1			8
13 "					7	4				11
14 "				1	5	6				12
15 "					3	1				4
16 "										
17 "				2	4					6
18 "					3	1				4
19 "										
20 "				1		1				2
21 "				3	3	2				8
22 "				2	2					4
23 "				3	6	1				10
24 "				1	8	2				11
25 "				8	7	2				17
26 "				14	3					17
27 "				4	6	2				12
28 "				7	8					15
29 "				1						1
30 "			1	7	4	1	1			14
31 "			2	10	5					17
32 "			1							1
33 "										
34 "										
35 "		5	6	15						26
36 "										
37 "										
38 "			1	1						2
39 "										
40 "	1	1	1							3
41 "		2		1						3
計	1	8	12	81	79	71	57	92		401
平均勤続年数	40.0	37.1	34.3	28.3	22.0	12.2	6.4	2.0		15.4

※ 再任用職員1名、派遣等職員7名を除く。

## 消 防 職 員 階 級 別 年 齢

令和4年4月1日現在

階級 年 齢	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
18 歳								2		2
19 歳								6		6
20 歳								4		4
21 歳								7		7
22 歳								19		19
23 歳							2	22		24
24 歳							9	16		25
25 歳							13	9		22
26 歳						3	11	6		20
27 歳						1	7			8
28 歳						4	4	1		9
29 歳						5	5			10
30 歳						7				7
31 歳						11	3			14
32 歳					1	10				11
33 歳						6	1			7
34 歳					3	4				7
35 歳					4	3				7
36 歳					4					4
37 歳					3	2	1			6
38 歳					5	2				7
39 歳					2	1				3
40 歳				1	3					4
41 歳				2	5	1				8
42 歳				1	2	1				4
43 歳				4	3	3				10
44 歳				3	6	4				13
45 歳				5	10	2				17
46 歳				12	7					19
47 歳				4	4					8
48 歳			1	11	6					18
49 歳				2	6	1	1			10
50 歳				4	3					7
51 歳				9	1					10
52 歳			1	2	1					4
53 歳			3	11						14
54 歳			1	5						6
55 歳			2	1						3
56 歳			3	1						4
57 歳		3		1						4
58 歳		2	1							3
59 歳	1	3		2						6
計	1	8	12	81	79	71	57	92		401
平均年齢	59.0	58.0	54.1	48.9	43.0	33.6	26.9	22.8		36.3

※ 再任用職員1名、派遣等職員7名を除く。

職員教育研修・研修実施状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

機 関	区 分	消防士	消 防 副 士 長	消 士 防 長	消 防 司 令 補	消 防 司 令	司 令 長 以 上	合 計
消防大学校	火災調査科				1			1
	査察マネジメントコース				1			1
	上級幹部科						1	1
茨 城 県 立 消 防 学 校	初任科	23						23
	警防科					2		2
	特殊災害科				2			2
	火災調査科				2			2
	予防査察科		1	1				2
	救急科	6						6
	救助科			3				3
	水難救助課程		1					1
	基本特定行為再講習		3	6	5	3		17
救急救命研修所	救急救命士研修		2					2
その他機関	気管挿管実習	4	2					6
	救命士就業前研修	19	2					21
	MCLS講習			5	3	2	1	11
	JPTECプロバイダー講習	11						11
	NIRS放射線事故初動セミナー				1	1		2
	衛生管理者受験講習会			1	2			3
	メンタルヘルスマネジメント実践研修会					2		2
	メンタルヘルスセミナー					1	2	3
	惨事ストレス初級研修					1		1

## 組 合 予 算

### 1 令和4年度稲敷地方広域市町村圏事務組合一般会計予算額

歳 入 (千円)			構成比 (%)	歳 出 (千円)			構成比 (%)
分賦金及び負担金	3,783,626	91.48	議 会 費	3,490	0.08		
使用料及び手数料	8,024	0.19	総 務 費	70,515	1.70		
国庫支出金	41,000	0.99	消 防 費	3,838,172	92.8		
県支出金	12,400	0.3	公 債 費	222,923	5.40		
財産収入	7	0.00	予 備 費	900	0.02		
寄付金	1	0.00					
繰越金	10,000	0.24					
諸収入	1,942	0.05					
組合債	279,100	6.75					
合 計	4,136,000	100	合 計	4,136,000	100		

### 2 人口・世帯当りの消防費

区 分	消 防 予 算 (千円)	一人当りの 消 防 費 (円)	一世帯当りの 消 防 費 (円)	備 考	
				人 口	世 帯
平成30年度	3,465,449	11,957	30,262	289,819	114,513
令和元年度	3,512,173	12,187	30,393	288,185	115,557
令和2年度	4,192,771	14,647	35,965	286,249	116,577
令和3年度	3,795,305	13,335	32,182	284,612	117,932
令和4年度	3,838,172	13,513	32,302	284,034	118,818

### 相 互 応 援 協 定 状 況

締 結 先		締 結 年 月 日
茨 城 県	取 手 市 消 防 本 部	昭和 57 年 7 月 6 日
	つ く ば 市 消 防 本 部	昭和 58 年 9 月 26 日
	茨 城 県 広 域	平成 元 年 4 月 1 日
	茨城県高速自動車道等関係消防本部	平成 19 年 3 月 10 日
	土 浦 市 消 防 本 部	平成 27 年 9 月 1 日
	鹿行広域事務組合消防本部	平成 30 年 3 月 5 日
	常総地方広域市町村圏事務組合消防本部	平成 30 年 3 月 8 日
千 葉 県	我 孫 子 市 消 防 本 部	昭和 57 年 1 月 1 日
	栄 町 消 防 本 部	平成 18 年 3 月 6 日
	香取広域市町村圏事務組合消防本部	平成 18 年 8 月 29 日
	成 田 市 消 防 本 部	平成 21 年 10 月 30 日
	千葉県首都圏中央連絡自動車道関係消防本部	平成 27 年 4 月 12 日
	印西地区消防組合消防本部	平成 31 年 2 月 27 日

予 防

INASHIKI FIRE PROTECTION DISTRICT



## 機動査察隊の紹介

機動査察隊は、専門的知識及び技術等を持った隊員で構成する精鋭部隊です。火災による人命危険等の被害拡大が予測される建物の安全性を確保する為、防火管理体制の徹底・強化、消防用設備等の設置及び維持管理を重点的に指導する査察に特化した部隊で、効果的かつ効率的な査察の実施を目的としています。今後、機動査察隊は、査察を進めていくことで、圏域住民の安心・安全の確保に努めていきます。



(消防用設備等確認の様子)

## 予防広報活動の紹介

予防課では、住民の生命や財産を火災や自然災害から守る為、店舗や病院、事業所への防火査察、避難訓練指導などの業務のほか、広報活動を通して、火災による死傷者及び住宅火災の減少に努めています。

## 民間防火組織の活動紹介

当消防本部管内には、幼年消防クラブ 18 団体、少年消防クラブ 2 団体、女性防火・防災クラブ 2 団体が組織されています。幼年・少年消防クラブは火災予防運動期間中に消防職員と街頭広報活動を行い地域に貢献するとともに、このような活動を通して幼少期からの防火思想の育成に取り組んでいます。また、女性防火・防災クラブは、住宅用火災警報器の設置促進活動や応急手当技術の習得に積極的に取り組んでいます。



(幼年消防クラブ防火教育の様子)

### 市町村別危険物施設状況

令和4年3月31日現在

施設別 市町村別	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計
龍ヶ崎市	6	36	25	1	29		25	4	31	23	180
牛久市	2	34	13		16		17	3	25	17	127
稲敷市	4	39	38	3	40	4	21	14	43	29	235
阿見町	7	54	56		27		16	77	29	37	303
利根町		1			3		4		5	4	17
河内町		4	4		4		3	1	9	7	32
美浦村	1	11	5	2	4		5		12	9	49
合計	20	179	141	6	123	4	91	99	154	126	943

### 危険物製造所等許可状況

令和3年4月1日～令和4年3月31日

施設別 区分	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計
設置許可			1		1		3	1	3	4	13
変更許可	14	3	1		4		8		19	27	76
完成検査	14	9	4		8		8	2	20	33	98
合計	28	12	6		13		19	3	42	64	187

### 危険物規制事務等手数料

令和3年4月1日～令和4年3月31日

設置許可 手数料	変更許可 手数料	完成検査 手数料	タンク水圧 (水張) 手数料	仮使用手数料	仮貯蔵手数料	仮取扱手数料	合計
358	1,963	1,468.0		264.6		48.6	4,102.20

(単位：千円)

市町村別防火対象物現況

令和4年3月31日現在

防火対象物（令別表第一）		市町村別	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合計	
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	4		3	2			1	10	
	ロ	公会堂又は集会場	31	50	37	43	9	9	17	196	
(2)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの									
	ロ	遊技場又はダンスホール	6	3	9	2				20	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
(3)	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	2			1				3	
	ロ	飲食店	48	45	30	23	1	2		149	
(4)		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	104	110	54	65	10	4	11	358	
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	10	7	10	2	1		2	32	
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	649	567	40	345	13	6	66	1,686	
(6)	イ	(1)	内科、整形外科等の特定診療科を有し、療養病床又は一般病床を有する病院（消火活動を適切に実施できる体制を有するものを除く。）	1	4	1				1	7
		(2)	内科、整形外科等の特定診療科を有し、4人以上の患者を入院させることができる診療所			1	1				2
		(3)	(1)を除く病院、(2)を除く患者を入院させることができる診療所又は入所施設を有する助産所	8	1	9	10				28
		(4)	入院施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所	24	33	8	23	7		4	99
	ロ	(1)	老人短期入所施設、養護老人ホーム等（避難が困難な要介護者を主として入所させるもの。）	34	32	11	14	6	5	8	110
		(2)	救護施設								
		(3)	乳児院								
		(4)	障害者入所施設								
		(5)	障害者支援施設等（避難が困難な障害者等を主として入所させるもの。）	2	7			3	1	4	17
	ハ	(1)	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等（ロ(1)を除く。）	4	8	14	10	2		3	41
		(2)	更生施設								
		(3)	助産所、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設等	23	23	10	13	3	3	2	77
		(4)	児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設等	4	1						5
		(5)	身体障害者福祉センター、地域活動支援センター、障害者支援施設（ロ(5)を除く。）等	9	14	5	9		2	5	44
ニ	幼稚園又は特別支援学校	4	10	5	7	3		10	39		
(7)		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	78	72	49	63	21	3	10	296	
(8)		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	2	3	1	2	2		1	11	
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	2	1	1					4	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場									
(10)		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客用に限る。）	1	1						2	
(11)		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	15	16	7	6	7		1	52	
(12)	イ	工場又は作業場	234	141	350	170	29	71	67	1,062	
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ									
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	22	14	26	13	1	4	13	93	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	3			3				6	
(14)		倉庫	171	114	275	151	23	61	86	881	
(15)		前各項に該当しない事業場	252	252	240	225	27	67	203	1,266	
(16)	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの	114	133	32	44	6	3	7	339	
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	56	79	26	11	2	3	10	187	
(17)		重要文化財、重要有形民族文化財等	3	1	6	1	3			14	
合計			1,923	1,745	1,260	1,260	179	244	533	7,144	

法 届 出 状 況

届出種別	市町村別								合 計
	龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	阿 見 町	利 根 町	河 内 町	美 浦 村		
消 防 用 設 備 等 着 工 届	61	37	24	47	8	5	8	190	
消 防 用 設 備 等 設 置 届	161	188	110	196	15	14	34	718	
防 火 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届	119	141	43	79	8	3	21	414	
統括防火管理者選任(解任)届									
防 災 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届	1	1		1				3	
統括防災管理者選任(解任)届									
消 防 計 画 書 届	184	148	58	105	11	8	30	544	
全体の消防計画書届出 (統括防火)									
防災管理に係る消防計画書									
全体の消防計画書届出 (統括防災)									
自衛消防組織設置届(変更)		7		2			5	14	
圧縮アセチレン貯蔵取扱	13	14	7	14	1		1	50	
無水硫酸貯蔵取扱									
液化石油ガス貯蔵取扱	42	12	4	19	1		2	80	
生石灰貯蔵取扱		2				2		4	
毒物貯蔵取扱									
劇物貯蔵取扱	2							2	
消防用設備等点検報告書	542	667	391	292	65	48	94	2,099	
防火対象物点検結果報告書	66	44	35	26	5	3	10	189	
防災管理定期点検結果報告書	1	8	1	8	1		1	20	
本 部 受 付	消 防 用 設 備 等 着 工 届			13	4			17	
	消 防 用 設 備 等 設 置 届	5	1	14	4			24	
	消防用設備等特例申請書		1					1	
	表示マーク交付(更新)申請書				1			1	
	表示制度対象外施設申請書								
	製造所等設置許可申請	3	3	3	1		1	11	
	製造所等変更許可申請	11	4	22	27	2	1	4	71
	製造所等仮使用承認申請	8	3	17	15	1	1	4	49
	製造所等完成検査申請	15	4	35	37	2		5	98
	危険物規則に関する届等	83	48	81	96	4	3	11	326
合 計	1,317	1,333	858	974	124	88	231	4,925	

条 例 届 出 状 況

市町村別 届出種別		龍	牛	稻	阿	利	河	美	合
		ヶ	久	敷	見	根	内	浦	計
		市	市	市	町	町	町	村	
防火対象物使用開始届		61	60	31	64	2	4	6	228
炉		24	1						25
厨 房 設 備									
温 風 暖 房 機									
ボイラー・給湯湯沸設備		4	6	8	3		1	1	23
乾 燥 設 備		10	1	2	4		3	1	21
サ ウ ナ 設 備									
ヒートポンプ冷暖房			1						1
火花を生ずる設備			1						1
放 電 加 工 機									
変 電 設 備		11	4	6	15	2	1	7	46
発 電 設 備		4	3	5	6		1	1	20
蓄 電 設 備		4	2	9	3	1	4	2	25
ネ オ ン 管 設 備									
水素ガスを充填する気球									
火災と紛らわしい行為		28	29	47	8	20	14	12	158
煙火打ち上げ・仕掛け		7	6	3	2	1	18	1	38
催 物 開 催		3	1	1					5
水道の断水・減水									
道 路 工 事		405	152	154	318	39	39	98	1,205
露 店 の 開 設		19	11	3	1	4	8	3	49
指 定 洞 道 等 の 届 出									
少 量 指 定 可 燃 物	少量危険物貯蔵取扱	10	10	11	17	1	2	2	53
	移動タンク貯蔵取扱届			1					1
	可燃性固体類				3			1	4
	石炭・木炭類								
	可燃性液体類	1							1
	合成樹脂類	6	6	2					14
	綿花・ぼろ・紙くず等		3	4					7
合 計		597	297	287	444	70	95	135	1,925

# 中高層建築物

令和4年3月31日現在

防火対象物（令別表第一）		階別														計		
		3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階				
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	1														1	
	ロ	公会堂又は集会場	4														4	
(2)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの																
	ロ	遊技場又はダンスホール	1														1	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等																
	ニ	カラオケボックス、その他遊興のための個室等																
(3)	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	1														1	
	ロ	飲食店	4														4	
(4)		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	3	2													5	
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	39	32	7	8	1		1		2						90	
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	219	70	91	17	10	6	2	3	1	3	5	3	4		434	
(6)	イ	(1) 内科、整形外科等の特定診療科名を有し、療養病床又は一般病床を有する病院（消火活動を適切に実施できる体制を有するものを除く。）	1	2	1		2	1									7	
		(2) 内科、整形外科等の特定診療科名を有し、4人以上の患者を入院させることができる診療所	2															2
		(3) (1)を除く病院、(2)を除く患者を入院させることができる診療所又は入所施設を有する助産所	14	2	3	1												20
		(4) 入院施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所	4	1														5
	ロ	(1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム等（避難が困難な要介護者を主として入所させるもの。）	9	5	1													15
		(2) 救護施設																
		(3) 乳児院																
		(4) 障害者入所施設																
		(5) 障害者支援施設等（避難が困難な障害者等を主として入所させるもの。）																
	ハ	(1) 老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等（ロ(1)を除く。）		1														1
		(2) 更生施設																
		(3) 助産所、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設等	1															1
		(4) 児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設等																
		(5) 身体障害者福祉センター、地域活動支援センター、障害者支援施設（ロ(5)を除く。）等																
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校	3															3
(7)		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	80	21	4	3	3	1									112	
(8)		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの																
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場																
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	1														1	
(10)		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客用に限る。）																
(11)		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	1		1												2	
(12)	イ	工場又は作業場	45	13	6						1						65	
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ																
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	2	1													3	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫																
(14)		倉庫	4	1	2												7	
(15)		前各項に該当しない事業場	53	14	7	2		2									78	
(16)	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの	75	10	7	8	1	2		1			1				105	
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	57	13	11	2	2			1							86	
(17)		重要文化財、重要有形民族文化財等																
合 計			624	188	141	41	19	12	3	6	3	3	6	3	4		1,053	

消防同意事務状況

防火対象物（令別表第一）		市町村別	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合計	
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場									
	ロ	公会堂又は集会場		3		1				4	
(2)	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの									
	ロ	遊技場又はダンスホール									
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
	ニ	カラオケボックス等									
(3)	イ	待合、料理店その他これらに類するもの									
	ロ	飲食店		1	2	1				4	
(4)		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場		4	1	4			1	10	
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの									
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	2	1	1	15			1	20	
(6)	イ	(1)	内科、整形外科等の特定診療科を有し、療養病床又は一般病床を有する病院（消火活動を適切に実施できる体制を有するものを除く。）	1		1				2	
		(2)	内科、整形外科等の特定診療科を有し、4人以上の患者を入院させることができる診療所								
		(3)	(1)を除く病院、(2)を除く患者を入院させることができる診療所又は入所施設を有する助産所			1					1
		(4)	入院施設を有しない診療所又は入所施設を有しない助産所		2		2				4
	ロ	(1)	老人短期入所施設、養護老人ホーム等（避難が困難な要介護者を主として入所させるもの。）	1		1					2
		(2)	救護施設								
		(3)	乳児院								
		(4)	障害者入所施設								
		(5)	障害者支援施設等（避難が困難な障害者等を主として入所させるもの。）	1	2		1				4
	ハ	(1)	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等（ロ(1)を除く。）	1			1				2
		(2)	更生施設								
		(3)	助産所、保育所、幼保連携型認定こども園、児童養護施設等	1			1				2
		(4)	児童発達支援センター、情緒障害児短期治療施設等	1	1						2
		(5)	身体障害者福祉センター、地域活動支援センター、障害者支援施設（ロ(5)を除く。）等	3			1				4
ニ	幼稚園又は特別支援学校										
(7)		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	1			1				2	
(8)		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの									
(9)	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場									
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場									
(10)		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客用に限る。）									
(11)		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	2	1	1					4	
(12)	イ	工場又は作業場	8	4	11	3			1	27	
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ									
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	1		3					4	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫									
(14)		倉庫	10	7	4	9		6	2	38	
(15)		前各項に該当しない事業場	17	4	8	10		1	9	49	
(16)	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの		1		2		1		4	
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	1			2				3	
(17)		重要文化財、重要有形民族文化財等									
合 計			51	31	34	54		8	14	192	

民間防火組織一覽

1 幼年消防クラブ

令和4年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員		
			男	女	計
龍ヶ崎市	龍ヶ崎文化幼稚園幼年消防隊	昭和59年11月27日	7	5	12
〃	龍ヶ崎つばめ保育園幼年消防隊(休園中)	平成15年6月2日	—	—	—
〃	ながと夢認定こども園幼年消防クラブ	平成23年9月1日	21	19	40
〃	しらはね認定こども園幼年消防クラブ	平成23年9月1日	13	14	27
牛久市	うしく文化認定こども園幼年消防隊	昭和59年7月1日	7	11	18
〃	牛久幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年9月13日	29	40	69
〃	ひたち野牛久幼稚園幼年消防クラブ	平成15年5月26日	13	9	22
阿見町	阿見認定こども園幼年消防クラブ	昭和61年8月1日	16	14	30
〃	荒川沖幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年9月2日	18	23	41
〃	中郷保育所幼年消防クラブ	昭和61年9月2日	14	11	25
〃	二区保育所幼年消防クラブ	昭和61年9月1日	10	11	21
〃	南平台保育所幼年消防クラブ	平成15年4月1日	7	13	20
〃	阿見みどり幼稚園幼年消防クラブ	昭和63年4月1日	44	32	76
〃	ふたば幼稚園幼年消防クラブ	昭和63年4月1日	33	21	54
〃	あゆみ保育園幼年消防クラブ	平成13年9月4日	14	15	29
〃	阿見ひかり保育園幼年消防クラブ	平成22年4月1日	15	10	25
〃	さくら保育園幼年消防クラブ	平成25年11月1日	13	13	26
利根町	利根大和幼稚園幼年消防クラブ	昭和59年12月1日	2	8	10
合計			276	269	545

2 少年消防クラブ

令和4年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員		
			男	女	計
龍ヶ崎市	龍ヶ崎市立城西中学校少年消防クラブ	平成7年6月1日	10	10	20
〃	龍ヶ崎市立龍ヶ崎中学校少年消防隊	令和4年4月1日	10	10	20
合計			20	20	40

3 女性防火・防災クラブ

令和4年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員
龍ヶ崎市	龍ヶ崎市婦人防火クラブ連絡協議会 根町・田町・横町地区婦人防火クラブ 新町・米町地区婦人防火クラブ 下町・砂町地区婦人防火クラブ 上町・高砂・直鮎地区婦人防火クラブ 八原地区婦人防火クラブ 馴柴地区婦人防火クラブ 馴馬・川原代地区婦人防火クラブ 北文間地区婦人防火クラブ	平成元年9月27日	48
牛久市	牛久市松ヶ丘婦人消防隊	平成7年7月1日	4
合計			52

警 防

INASHIKI FIRE PROTECTION DISTRICT



## 消防機動力

消防活動に欠かせない消防車両などの消防機械は、水槽付消防ポンプ自動車や救急車のほか、化学消防ポンプ自動車、梯子付消防ポンプ自動車、救助工作車、支援車などの特殊消防自動車、その他の車両、トライアルバイク、消防舟艇を管内に配置しています。

<p><b>化学消防ポンプ自動車 3台</b></p>  <p>化学消火薬剤を混合するため、1,500Lの水槽と500Lの薬液槽があり、泡放射が可能になっています。放水銃、耐熱服等、様々な資器材が装備されているほか、放水銃の搭載により大量放水ができるようになっています。</p>	<p><b>梯子付消防ポンプ自動車 3台</b></p>  <p>中高層建物など高所での消火活動や、人命救助に使用されます。梯子は長さ40m級が1台、35m級が1台、20m級が1台配置されています。35m級の梯子車は、先端が屈折し、高層ビルのフェンスや手すりなどに囲まれた屋上でのスムーズな救助活動が可能になっています。</p>	<p><b>救助工作車 3台</b></p>  <p>火災、交通事故、水難事故等の様々な現場において、人命救助活動に使用されます。特に、交通事故などで車両に閉じ込められた人を救助することが多く、クレーン、ウィンチ、油圧救助器具等を装備しています。</p>
<p><b>指揮車 7台</b></p>  <p>災害現場で指揮を執る「指揮隊」が搭乗し運用します。出場と同時に、現場の詳細、出場隊の状況など多くの情報を取り入れ、的確な指揮命令を下すための資器材、通信機器等を装備しています。</p>	<p><b>支援車 1台</b></p>  <p>後方支援用として多機能を有し、大規模災害・広域応援などの多数傷病者が発生した救急現場や長時間活動が必要となる火災現場、過酷な救助活動が強いられる現場等に出場する車両です。</p>	<p><b>資機材搬送車 3台</b></p>  <p>大規模災害、特殊災害、水難事故等の災害種別に応じて、必要な資機材を現場へ迅速に搬送することができます。写真の車両には、最大荷重1,000kgの昇降装置が装備されており、少人数で荷物の積み下ろしができます。</p>

<p>水槽付消防ポンプ自動車 11台</p>  <p>火災現場において主力となり、2,000ℓの水を積載し、消火栓や防火水槽を利用することなく、消火活動を行うことができます。<u>CAFS※</u>を使用することで、少ない水での消火活動が可能となります。(一部 CAFS 未装備車有)</p>	<p>消防ポンプ自動車 9台</p>  <p>主に水槽付消防ポンプ自動車に水を送る中継車として使用されます。小型のため、狭隘地では火災現場へ最接近し、<u>CAFS※</u>と600ℓの水槽の水を使用し、直ちに消火することができます。(一部 CAFS、水槽未装備車有)</p>	<p>高規格救急車 18台</p>  <p>救急救命士や救急隊員が、傷病者に対し救急活動を行うための車内空間と、救急救命処置に必要な救急資器材、固定装置、防振架台等を装備し、救急処置拡大に対応できる構造になっています。</p>
<p>トライアルバイク 19台</p>  <p>オフロードタイプの二輪車で、地震などの大規模災害時には、道路における通行障害や交通渋滞を避けることができ、迅速な被害調査、状況把握等を行うことができます。</p>	<p>救助ボート 9艇</p>  <p>河川に浮遊した瓦礫等や浅瀬などの環境下でも硬質ウレタン注入仕様の為、穴が空いても空気漏れせず、断裂によるパンクがなく、沈まない確実な活動が可能なボートです。</p>	<p>水上バイク 2艇</p>  <p>河川・湖沼にて発生した水難事故等において、迅速な救助及び検索活動を行います。</p>

※ CAFSとは、水に少量の消火薬剤を加え、そこへ圧縮空気を送り込むことにより発泡させる装置で、水の表面積を広げることで効率良く消火することができます。

- 消防車両の更新基準 特殊車（化学車、梯子車、救助工作車）20年  
消防ポンプ車 15年  
救急車 8年

この基準を基に走行距離、出場件数、性能維持、修繕履歴等を総合的に検討し、短縮又は延長を判断し更新しております。

# 消 防 車 両 等 の 配 置 状 況

令和4年4月1日現在

所属	車 種 別	登 録 番 号	車 名 等	型 式	排気量	配置年月日
消 防 本 部	指 揮 車	土 830 さ 1801	ト ヨ タ	CBF-TRH226K改	2,690	H30. 3. 2
	指 揮 車	土 800 さ 1902	ニ ッ サ ン	DBA-NT32	1,990	R 1. 9. 17
	支 援 車	土 830 す 1722	日 野	TKG-GD7JKAG	6,400	H29. 11. 1
	連 絡 車 (総務)	土 502 そ 1456	ト ヨ タ	DAA-ZWR80G	1,790	H28. 7. 1
	連 絡 車 (総務)	土 502 ち 3161	ト ヨ タ	DAA-NKE165G	1,490	H30. 8. 1
	連 絡 車 (予防)	土 300 ひ 6447	ニ ッ サ ン	UA-RC24	2,480	H15. 9. 30
	連 絡 車 (予防)	土 331 も 2013	ト ヨ タ	DAA-ZVW41W	1,790	H25. 9. 20
	連 絡 車 (予防)	土 502 た 5552	ト ヨ タ	DAA-NKE165G	1,490	H29. 11. 1
	連 絡 車 (救急)	土 480 け 5264	ダ イ ハ ツ	EBD-S321V	650	H28. 10. 23
	連 絡 車 (警防)	土 400 て 8618	ニ ッ サ ン	BPF-VY12	1,490	H30. 8. 1
	連 絡 車 (警防)	土 501 ふ 9485	ト ヨ タ	DBA-ZRR70G	1,980	H19. 9. 14
龍 ヶ 崎 署	化 学 車	土 830 す 1810	日 野	2KC-GX2ABA	5,120	H30. 10. 15
	救 助 工 作 車	土 830 さ 2010	日 野	BDG-GX7JGWA改	6,400	H22. 2. 22
	水 槽 付 消 防 ポ ンプ 車	土 830 さ 1631	日 野	SDG-GD7JGAA改	6,400	H28. 9. 8
	消 防 ポ ンプ 車	土 830 す 50	日 野	SKG-XZU685M	4,000	H24. 1. 30
	消 防 ポ ンプ 車	土 800 さ 1751	日 野	TKG-XZU685M	4,000	H29. 12. 13
	高 規 格 救 急 車	土 800 さ 1760	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H29. 10. 4
	高 規 格 救 急 車	土 830 さ 1665	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H28. 11. 15
	指 揮 車	土 830 さ 1680	ト ヨ タ	CBF-TRH200K	1,990	H28. 1. 20
	機 動 調 査 車	土 800 さ 4434	ニ ッ サ ン	KG-VWGE24	3,150	H12. 9. 21
	査 察 車	土 480 う 155	ス バ ル	LE-TV1	650	H18. 7. 11
	資 機 材 搬 送 車	土 830 せ 1220	日 野	TKG-XZU720M	4,000	H24. 10. 29
	資 機 材 搬 送 車	土 430 ち 119	ト ヨ タ	ABF-TRY230	1,990	H22. 2. 22
	マ イ ク ロ バ ス	土 200 さ 1102	ト ヨ タ	BDG-XZB51	4,000	H20. 7. 25
	非 常 用 救 急 車	土 800 す 6193	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H19. 2. 15
ボ ー ト ト レ ー ラ ー	土 800 る 1729	シーマリントレーラ	—	—	R3. 7. 12	
新 河 分 署	化 学 車	土 830 さ 2012	日 野	LKG-FH1ALAA改	8,860	H24. 2. 15
	水 槽 付 消 防 ポ ンプ 車	土 830 さ 1537	日 野	SDG-GD7JGAA改	6,400	H27. 9. 11
	消 防 ポ ンプ 車	土 830 さ 1457	日 野	TKG-XZU685M	4,000	H26. 2. 7
	高 規 格 救 急 車	土 830 さ 2066	ト ヨ タ	3BF-TRH226S	2,690	R 2. 7. 29
	広 報 車	土 800 す 6647	ニ ッ サ ン	DBA-Y12	1,490	H20. 1. 9
	資 機 材 搬 送 車	土 400 て 5582	ト ヨ タ	ABF-TRY230	1,990	H28. 9. 29
	非 常 用 救 急 車	土 830 さ 1262	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H24. 12. 6
	ボ ー ト ト レ ー ラ ー	土 800 る 1054	シーマリントレーラ	—	—	H22. 8. 12
龍 西 所	水 槽 付 消 防 ポ ンプ 車	土 800 は 969	ミ ツ ビ シ	PDG-FL63FX改	7,540	H20. 1. 22
	高 規 格 救 急 車	土 830 さ 2168	ト ヨ タ	3BF-TRH226S	2,690	R3. 7. 27
	広 報 車	土 830 さ 2184	ニ ッ サ ン	5BF-VM20	1,590	R3. 10. 20
牛 久 署	梯 子 車	土 830 さ 2111	日 野	2DG-PR1APJF	8,860	R3. 9. 17
	水 槽 付 消 防 ポ ンプ 車	土 830 さ 2032	日 野	2KG-GX2ABA	5,120	R 2. 10. 14
	消 防 ポ ンプ 車	土 800 は 1018	日 野	BDG-GD7JGWA改	6,400	H21. 2. 6
	消 防 ポ ンプ 車	土 830 さ 1453	日 野	TKG-XZU685M	4,000	H26. 12. 5
	高 規 格 救 急 車	土 830 つ 1971	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	R 1. 9. 2
	高 規 格 救 急 車	土 830 さ 1372	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H25. 11. 19
	指 揮 車	土 830 さ 1981	ト ヨ タ	CBF-TRH200K	1,990	H31. 2. 14
	査 察 車	土 501 の 1982	マ ツ ダ	DBA-DY3W	1,340	H18. 5. 19
	ボ ー ト ト レ ー ラ ー	土 800 る 1729	シーマリントレーラ	—	—	R3. 7. 12

## 消 防 車 両 等 の 配 置 状 況

令和4年4月1日現在

所属	車種別	登録番号	車名等	型式	排気量	配置年月日
牛東所	水槽付消防ポンプ車	土 800 は 919	ミツビシ	PA-FL63FX改	7,540	H19. 2. 21
	高規格救急車	土 830 さ 1867	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H30.10.23
	広報車	土 830 さ 1487	トヨタ	CBF-TRH199V	1,989	H26.12.11
	非常用消防車	土 800 は 70	ミツビシ	KK-FK61HGX	8,200	H12. 1. 17
	非常用救急車	土 830 て 64	トヨタ	CBF-TRH226V	2,690	H23. 1. 21
いなほ署	梯子車	土 88 さ 2156	日野	KC-FF1JKBA改	7,960	H 8.11. 5
	救助工作車	土 830 せ 2015	日野	2KG-GX2ABA	5,120	R 2. 3. 19
	水槽付消防ポンプ車	土 830 ら 119	日野	BDG-GX7JGWA改	6,400	H21. 2. 6
	消防ポンプ車	土 830 す 54	日野	BDG-XZU378M	4,000	H23. 1. 7
	高規格救急車	土 830 す 2162	トヨタ	3BF-TRH226S	2,690	R3. 7. 27
	高規格救急車	土 830 さ 1569	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H27. 9. 28
	指揮車	土 830 さ 1482	トヨタ	CBF-TRH200K	1,990	H26. 1. 9
	広報車	土 800 す 857	ニッサン	UA-WFY11	1,490	H15. 8. 29
	資機材搬送車	土 400 て 8804	トヨタ	ABF-TRY230	1,990	H30. 9. 20
	マイクロバス	土 22 す 3673	トヨタ	U-HDB51	4,160	H 7. 6. 30
	ボートトレーラー	土 800 る 487	トールライト	—	—	H15.10.29
	ボートトレーラー	土 800 る 1092	シーマリントレーラ	—	—	H23. 7. 4
	ボートトレーラー	土 800 る 1053	シーマリントレーラ	—	—	H22. 8. 2
桜東分署	水槽付消防ポンプ車	土 830 さ 1441	日野	SDG-GX7JGAA改	6,400	H26. 1. 10
	消防ポンプ車	土 830 そ 56	日野	BDG-XZU378M	4,000	H23. 1. 7
	高規格救急車	土 830 さ 2070	トヨタ	3BF-TRH226S	2,690	R 2. 7. 29
	広報車	土 800 さ 1890	トヨタ	CBF-TRH200V	1,990	H30. 1. 18
	資機材搬送車	土 800 す 6416	ミツビシ	PDG-FE82D	4,890	H19. 7. 6
	非常用救急車	土 830 た 71	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H22. 3. 25
阿見署	梯子車	土 88 さ 2177	日野	KC-PR4FPDF	20,780	H 9. 1. 8
	化学車	土 830 さ 1518	日野	SDG-GX7JGAA改	6,400	H27. 3. 17
	救助工作車	土 830 た 1717	日野	SDG-GX7JGAA改	6,400	H29. 3. 9
	資機材搬送車	土 830 さ 1819	日野	TPG-XZU722M	4,000	H30. 2. 28
	水槽付消防ポンプ車	土 800 は 1024	日野	BDG-FR1APYA	8,860	H21. 3. 25
	消防ポンプ車	土 830 さ 1858	日野	TKG-XZU685M	4,000	H30. 9. 3
	高規格救急車	土 800 す 9390	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H26.10.16
	高規格救急車	土 800 す 8344	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H24. 3. 15
	指揮車	土 800 す 8993	トヨタ	DBA-ZRR70G	1,980	H25. 9. 26
	広報車	土 880 あ 490	ニッサン	EBD-U71V	650	H25. 3. 28
	査察車	土 300 て 9567	トヨタ	GF-RZN185W	2,690	H13. 7. 24
	非常用消防車	土 88 さ 2322	日野	KC-GD1JGBA改	7,960	H10. 1. 5
	非常用救急車	土 800 す 6255	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H19. 3. 14
	ボートトレーラー	土 800 る 1516	組立	—	—	H30. 6. 26
	ボートトレーラー	土 800 る 1578	組立	—	—	R 1. 7. 16
利根署	水槽付消防ポンプ車	土 830 す 1334	日野	SDG-GD7JGAA改	6,400	H25. 1. 8
	消防ポンプ車	土 830 さ 1655	日野	TKG-XZU685M	4,000	H28. 9. 20
	高規格救急車	土 830 さ 1463	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H26.12. 4
	指揮車	土 800 す 864	ニッサン	UA-TC24	1,990	H15. 9. 1
	連絡車	土 480 さ 5061	ダイハツ	3BD-S321V	650	R3. 7. 1
ボートトレーラー	土 800 る 1216	シーマリントレーラ	—	—	H25. 8. 20	

主 な 消 防 器 具 等

令和4年4月1現在

器 具 名		本 部	消防署	分署	出張所	合 計
救 助 器 具	救 助 ボ ー ト		7	2		9
	救 助 用 水 上 バ イ ク		2			2
	検 索 用 探 知 機		7	2		9
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー		20	4	2	26
	チ ェ ー ン ソ ー		24	4	2	30
	エ ア ー ソ ー		4			4
	空 気 切 断 機		2			2
	油 圧 ス プ レ ッ タ ー		5	1		6
	油 圧 カ ッ タ ー		5	1		6
	マ ッ ト 型 エ ア ー ジ ャ ッ キ		4	1		5
	送 排 風 機	1	8			9
	削 岩 機		7			7
	ガ ス 溶 断 機		2			2
	ハ ン マ ー ド リ ル		5			5
	救 命 索 発 射 銃		10			10
	地 中 音 響 探 知 機		2			2
	熱 画 像 直 視 装 置		9	2	1	12
	夜 間 暗 視 装 置		2			2
	地 震 警 報 器		1			1
	画 像 探 索 機 I 型		1			1
画 像 探 索 機 II 型		3			3	
簡 易 画 像 探 索 機		1			1	
潜 水 具 一 式		14			14	
可 搬 式 ウ ィ ン チ		11	2	2	15	
保 護 器 具	耐 熱 防 護 服		10	4		14
	耐 電 用 防 護 服		19	5	4	28
	毒 劇 物 防 護 服		19			19
	放 射 線 防 護 服		7			7
	除 染 シ ャ ワ ー		2			2
	空 気 呼 吸 器		117	27	18	162
測 定 器 具	酸 素 呼 吸 器		10			10
	可 燃 性 ガ ス 測 定 器		10	2	2	14
	有 毒 ガ ス 測 定 器		6			6
	放 射 線 測 定 器		19	2	2	23
	ポ ケ ッ ト 線 量 計		40	10	10	60
救 急 器 具	化 学 剤 検 知 器		1			1
	生 物 剤 検 知 器		1			1
	血 糖 測 定 器		11	3	2	16
	除 細 動 器	1	22	7	5	35
	自 動 心 臓 マ ッ サ ー ジ 器		5	2	2	9
そ の 他	観 察 用 モ ニ タ ー		13	3	3	19
	人 工 呼 吸 器		12	3	3	18
	ミ ス ト フ ェ ン	1				1
	ド ロ ー ン	1	5			6
呼 吸 器 用 高 圧 空 気 圧 縮 機		3			3	
非 常 用 ろ 過 器		5			5	

## 消防隊の主な訓練等

火災、救助等の多種多様な災害に対応するためには、車両や資機材等の充実を図ることが必要ですが、災害による被害を最小限に食い止めるためには、それらを有効に活用するための訓練が重要です。年間を通じて各種訓練等を行い災害対応力の向上に努めています。

### 警防技術訓練

この訓練は、当管内の消防署において、消防隊による放水活動、ホース延長要領、ポンプ運用等の基本的消防活動の確実性、迅速性を高めることを目的に建物火災を想定した訓練を実施しています。



### 高度・特別救助隊訓練

救助隊は、専門的な知識・技術を有した隊員と救助用資機材等の装備・救助工作車で編成し、より高度な人命救助をはじめ、大規模災害や特殊な災害に即座に対応できるよう常日頃から訓練を行っています。



## 水難救助訓練

この訓練は、河川や湖沼において水難事故現場を想定し、船上からの搜索や水難救助隊が潜水器材を着用し、水中を搜索する訓練を行っています。



## 震災訓練

この訓練は、大規模な地震発生時における職員召集を含めた連絡体制確立を迅速・確実にを行うことを目的に実施する訓練です。



## 水防訓練

この訓練は、台風時期などに河川や湖沼の水位上昇に伴う水害の被害を最小限に抑えるため、積土のう工法、繋ぎ縫い工法、月の輪工法、釜段工法などの各水防工法を実施し、水防技術の向上と水防機関相互の協力体制の確立を図る訓練です。



## 総 出 場 状 況

種 別		件 数	車 両 数	延 人 員	
火 災	建 物	49	323	1,120	
	林 野	2	8	32	
	車 両	9	50	165	
	航 空 機				
	船 舶				
	そ の 他	51	253	893	
	火 災 合 計	111	634	2,210	
救 助		159	923	3,016	
救 急 支 援		1,164	1,214	4,490	
風 水 害 等		6	7	26	
演 習 訓 練		160	200	742	
広 報 活 動 ・ 訓 練 指 導		87	102	313	
警 防 調 査		637	652	2,233	
火 災 調 査		94	145	484	
特 別 警 戒		14	23	97	
予 防 査 察		109	117	330	
そ の 他	非 火 災	誤 報 ・ 誤 認 等	262	472	1,627
		い た ず ら	1	1	3
		自 火 報 調 査	28	63	223
		怪 煙 偵 察			
		そ の 他	19	32	116
		非 火 災 合 計	310	568	1,969
危 険 排 除		48	50	190	
各 種 検 査		315	347	909	
各 種 調 査		136	142	454	
蜂 の 巣 駆 除		8	8	31	
危 険 物 流 出 事 故		9	9	38	
圏 域 外 応 援 出 場		10	10	30	
そ の 他					
そ の 他 の 合 計		526	566	1,652	
合 計		3,377	5,151	17,562	

※救急出動状況については、救急関係に記載しています。

所属別火災出動状況

管内別	種別	建物火災		林野火災		車両火災		その他の火災		計		
		車両別	区別	車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員	
			台	人	台	人	台	人	台	人	台	人
本部	指揮車		17	47	1	3	2	6	22	58	42	114
	その他の車両											
龍ヶ崎署	化学車											
	救助工作車											
	水槽付消防ポンプ車		20	76	1	4	2	8	19	82	42	170
	消防ポンプ車		19	76			2	8	9	36	30	120
	指揮車		5	16					2	8	7	24
	救急車		18	59	1	4	2	7	13	53	34	123
	その他の車両		5	17					8	24	13	41
新河分署	化学車		7	21			1	4	2	7	10	32
	水槽付消防ポンプ車		4	16	1	5			11	47	16	68
	消防ポンプ車		2	6					1	3	3	9
	救急車								2	4	2	4
	広報車						1	3			1	3
龍西所	水槽付消防ポンプ車		11	44			2	7	16	60	29	111
	救急車		6	20			2	6	11	37	19	63
	広報車		1	3							1	3
牛久署	梯子車		3	3					2	2	5	5
	水槽付消防ポンプ車		1	4							1	4
	消防ポンプ車		16	73	1	5	3	12	14	61	34	151
	指揮車		20	72			3	11	10	37	33	120
	救急車		9	23			1	2	2	5	12	30
牛東所	水槽付消防ポンプ車		6	18			1	3	2	6	9	27
	救急車		19	81	2	10	3	11	8	32	32	134
	広報車								1	3	1	3
いなほ署	梯子車		1	1	1	1	1	2	1	2	4	6
	救助工作車											
	水槽付消防ポンプ車		7	21			2	6	5	15	14	42
	消防ポンプ車		14	51			4	14	17	68	35	133
	指揮車		11	36			2	6	12	38	25	80
	救急車		5	11			1	2	6	17	12	30
	広報車		9	30					3	9	12	39
	その他の車両		1	1					1	1	2	2
桜東分署	水槽付消防ポンプ車		1	9							1	9
	消防ポンプ車		4	15			2	8	10	39	16	62
	救急車		3	9			1	3	6	19	10	31
	広報車						1	3			1	3
阿見署	水槽車		2	4			1	2	2	2	5	8
	梯子車											
	化学車											
	救助工作車		13	52			3	11	7	26	23	89
	水槽付消防ポンプ車		12	37			1	4	5	17	18	58
	消防ポンプ車		5	21			2	6	3	10	10	37
	指揮車		11	37			1	3	5	17	17	57
	救急車		4	8					1	3	5	11
その他の車両		5	15			2	6	2	6	9	27	
利根署	水槽付消防ポンプ車		15	55			1	1	8	27	24	83
	消防ポンプ車		7	21					3	10	10	31
	指揮車		2	6							2	6
	救急車		2	5					1	2	3	7

### 救助事故種別出動件数及び活動件数

区分	事故種別		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物	建物以外										
出動件数	29	28	62	14				16	1		9	159
活動件数	29	28	24	8				10			7	106

### 救助事故種別救助人員及び車両搬送人員

区分	事故種別		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物	建物以外										
救助人員	8	1	30	10				8			7	64
搬送車両等の内訳	救急自動車	8		27	1			4			3	43
	ヘリコプター			1								1
	消防機関のその他車両等										1	1
	消防機関以外の車両等			1								1
	計	8	1	29	1			4			4	46

### 救助事故種別出動人員及び活動人員

区分	事故種別		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物	建物以外										
出動人員	専任救助隊員	117	106	216	56			48	3		29	575
	兼任救助隊員	38	10	48	8			15			4	123
	消防隊員	615	534	376	182			16	6		28	1,757
	救急隊員	95	69	274	46			46	3		28	561
	計	865	719	914	292			125	12		89	3,016
活動人員	専任救助隊員	56	35	68	29			18			22	228
	兼任救助隊員	14	10	17	4			7			4	56
	消防隊員	123	116	82	83			7			4	415
	救急隊員	24	9	73	18			12			13	149
	計	217	170	240	134			44			43	863

### 救助事故種別発生場所別出動件数

区分		事故種別		火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等 自 然災害	機械等 に よ る事故	建物等 に よ る事故	ガス及 び 酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外	建物	建物 以外									
屋 内	住 居	22								14	1		1	38
	その他の屋内	7								2			1	10
屋 外	道 路	高速自動車道			1									1
		その他の道路		2	56	1							1	60
	水 面	内 水 面				10								10
		外 水 面				3								3
	山 岳													
	その他の屋外		26	5									6	37
地 下														
そ の 他														
計		29	28	62	14					16	1		9	159

### 救助事故種別発生場所別活動件数

区分		事故種別		火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等 自 然災害	機械等 に よ る事故	建物等 に よ る事故	ガス及 び 酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外	建物	建物 以外									
屋 内	住 居	22								9			1	32
	その他の屋内	7								1			1	9
屋 外	道 路	高速自動車道												
		その他の道路		2	20								1	23
	水 面	内 水 面				7								7
		外 水 面				1								1
	山 岳													
	その他の屋外		26	4									4	34
地 下														
そ の 他														
計		29	28	24	8					10			7	106

### 救助事故種別発生場所別救助人員

区分		事故種別		火 災		交通 事故	水難 事故	風水害 等 自 然災害	機械等 に よ る事故	建物等 に よ る事故	ガス及 び 酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
		建物	建物 以外	建物	建物 以外									
屋 内	住 居	8	1							7			1	17
	その他の屋内									1			1	2
屋 外	道 路	高速自動車道												
		その他の道路			26								1	27
	水 面	内 水 面				9								9
		外 水 面				1								1
	山 岳													
	その他の屋外			4									4	8
地 下														
そ の 他														
計		8	1	30	10					8			7	64

### 救助事故種別出動車両台数

区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械等 による事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	計
	建物	建物以外									
救助工作車	29	28	60	13			13	1		8	152
消防ポンプ車	126	97	53	17			8			7	308
梯子車	1										1
化学車	19	17	25	5				1		1	68
指揮車・広報車	46	43	42	28			1	1		1	162
救急車	31	23	91	15			15	1		9	185
船舶				24							24
その他	7	3	2	11							23
計	259	211	273	113			37	4		26	923

### 救助事故種別活動車両台数

区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械等 による事故	建物等 による事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	計
	建物	建物以外									
救助工作車	16	9	18	6			5			6	60
消防ポンプ車	28	16	16	10			4			2	76
梯子車											
化学車	3	6	7	1							17
指揮車・広報車	6	6	4	11							27
救急車	7	4	24	5			5			4	49
船舶				9							9
その他	1	1		5							7
計	61	42	69	47			14			12	245

### 救助隊員の訓練実施状況

訓練種別	区分	実施延回数	実施延人員	実施延時間
体力練成		763	2,107	703:20
ロープ基本・応用訓練		269	1,022	450:15
検索・救助訓練		36	150	51:35
各種救助器具取扱		442	1,639	617:05
各種救助事象想定訓練		302	1,483	486:30
その他の訓練		1,115	4,858	1954:15
計		2,927	11,259	4263:00

圏域内市町村別消防水利施設設置状況

令和4年1月1日現在

種別 市町村名	消防水利 現有数	防火水槽			消火栓		その他の 水利 プール 自然水利
		公設	公設耐震 飲料水兼用	私設	公設	私設	
		龍ヶ崎市	984	346	3	85	
牛久市	1,175	413	3	40	718	1	27
稲敷市	1,561	520	4	82	955		57
阿見町	1,391	286	5	146	952	2	13
利根町	424	151	1		271	1	2
河内町	246	56		4	186		15
美浦村	564	114		77	329	44	53
合計	6,345	1,886	16	81	3,947	44	248

# 通 信

INASHIKI FIRE PROTECTION DISTRICT



## 通信指令の業務

高機能消防指令センターでは、位置情報通知システム、自動出動指定装置、地図検索装置などの通信施設を活用し、119番受付から消防隊・救急隊・救助隊への出場指令、現場活動への支援情報の提供のほか、関係機関への連絡、市民への災害情報提供など一連の業務を迅速かつ確実にを行っています。

## 指令システム

119番通報の受信から出場まで



119通報

災害の通報は、119番通報、消防署所への駆け付け通報、緊急通報システム、NET119緊急通報システム、FAX119受信システム、警察などからの通報があります。



通報受付

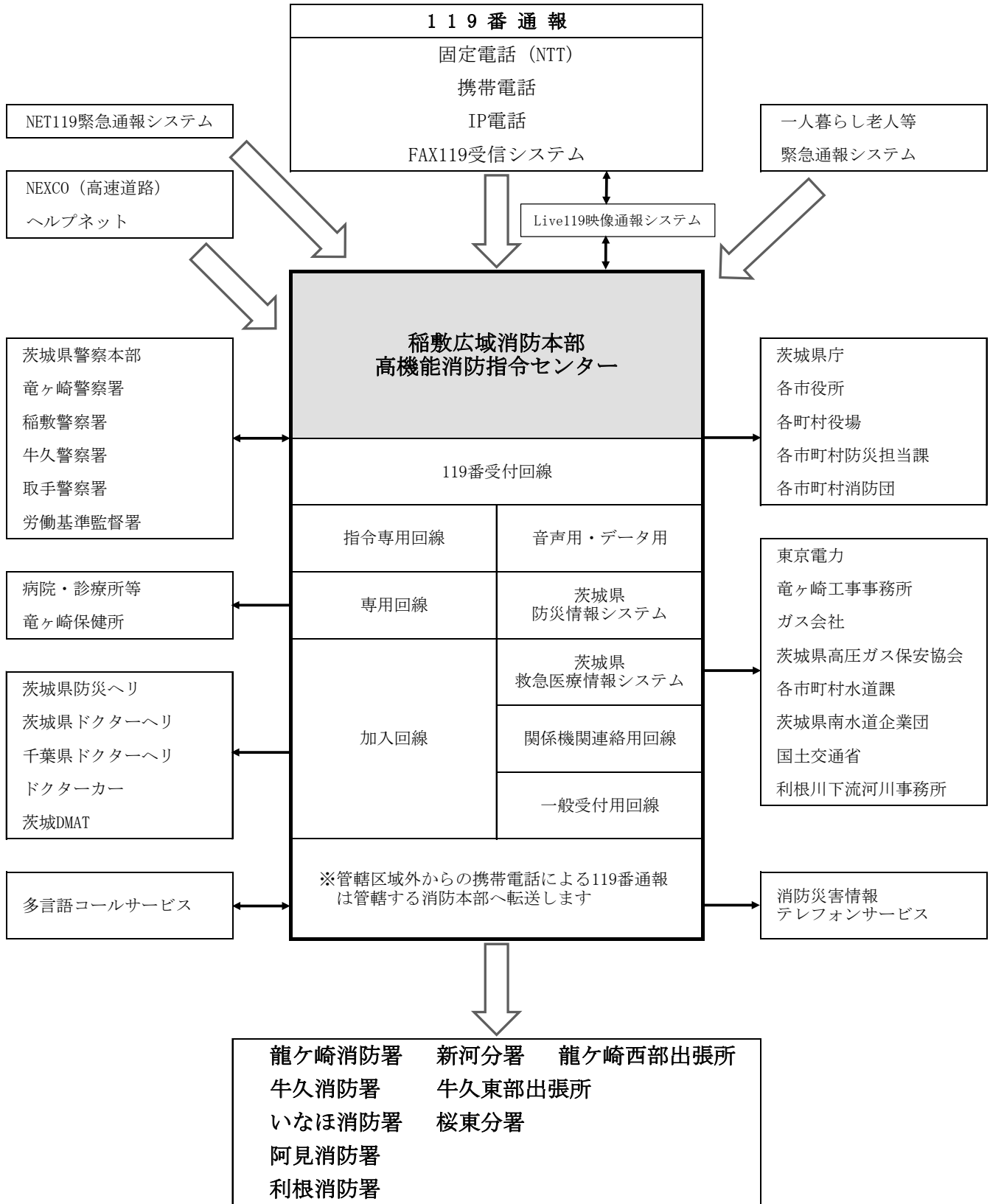
災害場所を短時間で特定する事が被害の軽減につながることから、位置情報通知システムや地図検索装置を活用しています。



出場指令

自動出動指定装置、出動車両運用管理装置を活用し、災害種別、規模に応じた直近の消防隊などを自動編成し、正確な情報の伝達と的確な出場指令を行います。

# 通 信 系 統



# 通 信 施 設 状 況

令和4年4月1日現在

装 置 名		数 量	備 考
指 令 装 置	指 令 台	3 台	分離設置型
	自 動 出 動 指 定 装 置	3 式	
	地 図 等 検 索 装 置	3 式	
	長 時 間 録 音 装 置	1 式	
	非 常 用 指 令 装 置	1 式	
	指 令 制 御 装 置	1 式	
指 揮 台	指 揮 台	1 台	指令台同機能型
	自 動 出 動 指 定 装 置	1 式	
	地 図 等 検 索 装 置	1 式	
表 示 盤	車 両 運 用 表 示 盤	4 面	
	支 援 情 報 表 示 盤	4 面	
	多 目 的 情 報 表 示 装 置	4 面	
拡 張 台	拡 張 台	6 台	無線遠隔制御器(3台)
指令伝送装置	指令情報伝送装置	1 式	
気 象 情 報 収 集 装 置		1 式	
災 害 状 況 等 自 動 案 内 装 置		1 式	20 回線収容
順 次 指 令 装 置		1 式	音声合成連動・Eメール対応
音 声 合 成 装 置		1 式	音片編集装置
出 動 車 両 運 用 管 理 装 置		1 式	Ⅲ型
シ ス テ ム 監 視 装 置		1 式	
電 源 設 備	無 停 電 電 源 装 置	1 式	(本部・9 署所)
	直 流 電 源 装 置	1 式	(本部)
	非 常 用 発 動 発 電 機	1 式	
統 合 型 位 置 情 報 通 知 装 置		1 式	
1 1 9 受 信 F A X		1 式	
茨城県救急医療情報コントロール装置		1 式	
ひとり暮らし緊急通報システム受信装置		1 式	
茨城県防災情報ネットワークシステム端末装置		1 式	
N E T 1 1 9 緊 急 通 報 装 置		1 式	
L i v e 1 1 9 映 像 通 報 装 置		1 式	

## 無 線 局 一 覧 表

基地局名称	活動波	共通波	送信出力
いなしきしょうぼう	活動波1 活動波2 活動波4	主運用波 統制波 1、2、3	10W
いなしきしょうぼうあみ	活動波2 活動波3 活動波4	主運用波 統制波 1、2、3	10W
いなしきしょうぼうたかだ	活動波2 活動波3 活動波4	主運用波 統制波 1、2、3	10W

所属	移動局名称(車載、可搬、固定型)	車種別	移動局名称(携帯型)	備考
消防本部	いなしき1	指揮車	いなしき101、102	指揮本部用 通信指令課
	いなしき2	指揮車		
	いなしきしえん1	支援車		
	いなしき501			
	いなしきこてい1			
龍ヶ崎消防署	りゅうがさきしき1	指揮車	いなしきかがく101	指揮本部用
	いなしききゅうじょ1	救助工作車	いなしききゅうじょ101、102	
	りゅうがさき1	化学車	りゅうがさき101、102	
	りゅうがさき2	水槽付消防ポンプ車	りゅうがさき103	
	りゅうがさき3	消防ポンプ車	りゅうがさき104	
	りゅうがさき4	消防ポンプ車	りゅうがさき105	
	りゅうがさききゅうきゅう1	高規格救急車		
	りゅうがさききゅうきゅう2	高規格救急車		
	りゅうがさきはんそう1	資機材搬送車		
	いなしききゅうきゅう1	非常用救急車		
いなしき301				
新河分署	いなしきかがく2	化学車	いなしきかがく201	指揮本部用
	しんかわ1	水槽付消防ポンプ車	しんかわ101、102	
	しんかわ2	消防ポンプ車	しんかわ103	
	しんかわきゅうきゅう1	高規格救急車		
	しんかわこうほう1	広報車		
	いなしききゅうきゅう4	非常用救急車		
	いなしき306			

所属	移動局名称(車載、可搬、固定型)	車種別	移動局名称(携帯型)	備考
龍ヶ崎西部出張所	りゅうがさき5	水槽付消防ポンプ車	りゅうがさきせいぶ101	指揮本部用
	りゅうがさききゅうきゅう3	高規格救急車		
	りゅうがさきせいぶこうほう1	広報車		
	いなしき308			
利根消防署	とねしき1	指揮車	とね101、102 とね103、104	指揮本部用
	とね1	水槽付消防ポンプ車		
	とね2	消防ポンプ車		
	とねきゅうきゅう1	高規格救急車		
	いなしき305			
牛久消防署	うしくしき1	指揮車	いなしきはしご101 うしく101、102 うしく103、104 うしく105	指揮本部用
	いなしきはしご1	梯子車		
	うしく1	水槽付消防ポンプ車		
	うしく2	消防ポンプ車		
	うしく3	消防ポンプ車		
	うしくきゅうきゅう1	高規格救急車		
	うしくきゅうきゅう2	高規格救急車		
	いなしき302			
牛久東部出張所	うしく4	水槽付消防ポンプ車	うしくとうぶ101	指揮本部用
	うしくきゅうきゅう3	高規格救急車		
	うしくとうぶこうほう1	広報車		
	いなしき3	非常用消防車		
	いなしききゅうきゅう5	非常用救急車		
いなしき309				

所属	移動局名称(車載、可搬、固定型)	車種別	移動局名称(携帯型)	備考
阿見消防署	あみしき1	指揮車		
	いなしききゅうじよ3	救助工作車	いなしききゅうじよ301、302	
	いなしきはしご3	梯子車	いなしきはしご301	
	あみ1	化学車	あみ101	
	あみ2	消防ポンプ車	あみ102	
	あみ3	水槽付消防ポンプ車	あみ103	
	あみきゅうきゅう1	高規格救急車		
	あみきゅうきゅう2	高規格救急車		
	あみはんそう1	資機材搬送車		
	いなしき4	非常用消防車		
	いなしききゅうきゅう2	非常用救急車		
	いなしき304			指揮本部用
いなほ消防署	いなほしき1	指揮車		
	いなしききゅうじよ2	救助工作車	いなしききゅうじよ201、202	
	いなしきはしご2	梯子車	いなしきはしご201	
	いなほ1	水槽付消防ポンプ車	いなほ101、102	
	いなほ2	消防ポンプ車	いなほ103	
	いなほきゅうきゅう1	高規格救急車		
	いなほきゅうきゅう2	高規格救急車		
	いなほこうほう1	広報車		
	いなしき303			指揮本部用
桜東分署	おうとう1	水槽付消防ポンプ車	おうとう101、102	
	おうとう2	消防ポンプ車	おうとう103	
	おうとうきゅうきゅう1	高規格救急車		
	おうとうこうほう1	広報車		
	おうとうはんそう1	資機材搬送車		
	いなしききゅうきゅう3	非常用救急車		
		いなしき307		

※ 送信出力 車載型、可搬型、固定型(5W) 携帯型(2W)

署活動系携帯無線機(アナログ)

所 属	移 動 局 名 称	隊 名	車 種 別
消 防 本 部	いなしき10、11、12、13	稲敷1	指揮車
龍ヶ崎消防署	りゅうがさき10 いなしきかがく11、12 いなしききゅうじょ11、12、13 りゅうがさき11、12、13 りゅうがさき21、22、23 りゅうがさき31、32、33 りゅうがさき41、42、43	龍ヶ崎指揮1 稲敷救助第1 龍ヶ崎第1 龍ヶ崎第2 龍ヶ崎第3 龍ヶ崎第4	指揮車 救助工作車 化学車 水槽付消防ポンプ車 消防ポンプ車 消防ポンプ車
新 河 分 署	いなしきかがく21 しんかわ11、12、13 しんかわ21、22、23	稲敷化学第2 新河第1 新河第2	化学車 水槽付消防ポンプ車 消防ポンプ車
龍ヶ崎西部出張所	りゅうがさき51、52、53	龍ヶ崎第5	水槽付消防ポンプ車
利 根 消 防 署	とね10 とね11、12、13 とね21、22、23	利根指揮1 利根第1 利根第2	指揮車 水槽付消防ポンプ車 消防ポンプ車
牛 久 消 防 署	うしく10 いなしきはしご11、12 うしく11、12、13 うしく21、22、23 うしく31、32、33	牛久指揮1 稲敷梯子第1 牛久第1 牛久第2 牛久第3	指揮車 梯子車 水槽付消防ポンプ車 消防ポンプ車 消防ポンプ車
牛久東部出張所	うしく41、42、43	牛久第4	水槽付消防ポンプ車
阿 見 消 防 署	あみ10 いなしききゅうじょ31、32、33 いなしきはしご31、32 あみ11、12、13 あみ21、22、23 あみ31	阿見指揮1 稲敷救助第3 稲敷梯子第3 阿見第1 阿見第2 阿見第3	指揮車 救助工作車 梯子車 化学車 消防ポンプ車 水槽付消防ポンプ車
い な ほ 消 防 署	いなほ10 いなしききゅうじょ21、22、23 いなしきはしご21、22 いなほ11、12、13 いなほ21、22、23	いなほ指揮1 稲敷救助第2 稲敷梯子第2 いなほ第1 いなほ第2	指揮車 救助工作車 梯子車 水槽付消防ポンプ車 消防ポンプ車
桜 東 分 署	おうとう11、12、13 おうとう21、22、23	桜東第1 桜東第2	水槽付消防ポンプ車 消防ポンプ車

## 119番回線別着信件数

区分	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
固定電話	398	368	310	324	259	261	317	268	269	311	265	298	3648
I P 電話	396	388	355	345	336	338	423	391	369	361	376	433	4511
携帯電話	714	736	635	665	659	706	828	865	713	738	714	845	8818
月計	1508	1492	1300	1334	1254	1305	1568	1524	1351	1410	1355	1576	16977

## 119番通報着信件数

回線種別	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災	16	46	25	32	8	12	9	8	13	7	4	22	202
救急	1023	805	912	957	935	941	1166	1124	939	993	1010	1170	11975
救助	5	6	4	2	4	6	1	4	4	5	3	6	50
その他災害	30	18	3	8	4	4	2	8	8	12	9	8	114
問合せ		23	51	59	61	70	81	92	86	51	54	68	696
いたずら		7	14	12	7	17	12	13	20	2	6	4	114
まちがい		41	67	65	60	89	82	65	48	76	62	60	715
その他	434	253	82	87	57	79	99	120	119	126	94	118	1668
試験		200	27	15	15	14	12	13	16	10	5	12	339
通報訓練		55	27	7	16	12	14	11	20	29	32	26	249
F A X 切断		5	3	2	1	2	1	1	1	3	2	4	25
転送切断		21	36	36	42	26	56	34	35	35	35	45	401
119網切断			2	2	2	1	1	1	1	4	2	2	18
補助受付電話					4								4
火災通報装置		12	47	50	38	32	32	30	41	57	37	31	407
月計	1508	1492	1300	1334	1254	1305	1568	1524	1351	1410	1355	1576	16977

※1月1日から2月16日までの回線種別件数は、旧消防指令システムでの計上で、火災、救急、救助、その他災害以外の件数(問合せ、いたずら、まちがい等)は、その他に含まれます。

## 緊急通報システム受信状況

市町村別		龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合計
加入者数 (R4.4.1)		340	110	120	145	65	42	63	885
通報 件数		541	130	291	29	50	71	112	1224
	火 災	0	0	0	0	0	0	0	0
	救 急	44	49	26	29	13	4	9	174
	その他通報 (相談、誤報等)	497	81	265	/	37	67	103	1050

※阿見町は緊急通報システム委託のため、受信センターからの要請件数となります。

## NET119受信状況

市町村別		龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合計
加入者数 (R4.4.1)		12	21	9	16	7	2	3	70
通報 件数		0	0	0	0	0	0	0	0
	火 災	0	0	0	0	0	0	0	0
	救 急	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他通報	0	0	0	0	0	0	0	0

## 月別風速・気温・湿度・雨量調

風 速 (m/s)

通信指令課観測

月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最大風速	7m/s未満	9	3	2	0	2	3	4	1	3	8	11	9
	7m/s以上10m/s未満	9	5	9	6	10	19	17	17	13	10	9	7
	10m/s以上15m/s未満	8	12	14	20	14	7	9	7	14	11	9	9
	15m/s以上	5	8	6	4	5	1	1	6	0	2	1	6
平 均 風 速		2.2	2.8	2.9	3.3	3.3	2.6	2.4	3.0	2.6	2.6	2.0	2.5

気 温 (℃)

通信指令課観測

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最 高	17.3	21.1	23.1	25.7	28.9	31.3	35.3	36.0	30.5	29.5	21.7	19.0
最 低	-6.6	-3.0	1.2	4.9	9.7	15.2	19.2	18.6	15.3	5.2	0.7	-4.3
平 均	4.0	7.0	11.6	14.0	19.1	22.1	25.2	26.9	21.8	17.4	12.5	6.5

湿 度 (%)

通信指令課観測

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最 高	98.8	94.4	96.4	96.3	98.4	98.0	99.3	98.1	98.4	98.4	98.7	95.9
最 低	19.6	12.6	9.2	7.7	15.4	28.6	39.9	36.6	38.6	29.3	24.5	17.7
平 均	74.7	48.7	64.8	60.8	71.5	76.5	82.7	80.0	82.0	77.0	70.3	63.2

雨 量 (mm)

通信指令課観測

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総雨量	29.0	69.5	132.0	97.0	87.5	74.5	226.0	296.0	95.0	168.5	63.0	141.0

火災

*INASHIKI FIRE PROTECTION DISTRICT*



## 火 災 調 査

平成 29 年に火災調査主任調査員認定資格者制度を取り入れ、平成 30 年には非破壊検査を行うためのエックス線透過装置及び油性反応分析を行うガスクロマトグラフ質量分析計を導入、さらに令和元年には微小物体を高倍率、高解像で確認できるデジタルマイクロスコープを整備しました。

こうした火災調査整備体制の充実化により、平成 28 年に 20.3%であった火災原因不明率が、令和 3 年には 2.7%まで減少いたしました。今後も科学的根拠に基づく調査結果を導き出し、類似火災の防止に努めていきます。



## 火災統計上の参考事項

### 1 火災の定義

「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

### 2 火災の種類

火災は、次の6種に分類する。ただし、火災が2種以上にわたった場合は、原則として焼き損害額の大きなものの種別による。

(1) 建物火災

建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

(2) 林野火災

林野、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

(3) 車両火災

自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

(4) 船舶火災

船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。

(5) 航空機火災

航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。

(6) その他の火災

(1)から(5)までに掲げる火災以外の火災(空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災)をいう。

### 3 火災損害

「火災損害」とは、火災によって受けた直接的な損害をいい、「焼き損害」、「消火損害」、「爆発損害」、「人的損害(火災による死者及び負傷者)」に区分する。「焼き損害」とは、火災によって焼けた物及び熱によって破損した物等の損害をいい、「消火損害」とは、消火活動によって受けた水損、破損、汚損等の損害をいい、「爆発損害」とは、爆発現象の破壊作用によって発生した損害のうち、「焼き損害」、「消火損害」以外の損害をいい、消火のために要した経費、焼跡整理費、火災のための休業による損失等の間接的な損害を除く。

損害額は、り災時における時価により算定することとし、「人的損害」はこれに含めない。

### 4 焼損の程度

一の建物の焼損程度の区分の基準は、次のとおりである。

(1) 全焼

建物の焼き損害額が、火災前の建物の評価額の70%以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。

(2) 半焼

建物の焼き損害額が、火災前の建物の評価額の 20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。

(3) 部分焼

建物の焼き損害額が、火災前の建物の評価額の 20%未満のもの又は建物の収容物のみ焼損したものでぼやに該当しないものをいう。

(4) ぼや

建物の焼き損害額が、火災前の建物の評価額の 10%未満であり焼損床面積が 1 m<sup>2</sup>未満のもの、建物の焼き損害額が、火災前の建物の評価額の 10%未満であり焼損表面積が 1 m<sup>2</sup>未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

## 5 り災世帯

り災世帯については、り災の程度により、次のとおり区分する。

(1) 全損

建物(収容物を含む。以下のこの項において同じ)の火災損害額が、り災前の建物の評価額の 70%以上のものをいう。

(2) 半損

建物の火災損害額が、り災前の建物の評価額の 20%以上で、全損に該当しないものをいう。

(3) 小損

建物の火災損害額が、り災前の建物の評価額の 20%未満のものをいう。

## 6 死者・負傷者

「死者」又は「負傷者」とは、火災現場において火災に直接起因して、死亡した者(病死者を除く。)又は負傷した者をいう。この場合消防吏員及び消防団員については、火災を覚知した時より現場を引き揚げるまでの間に死亡した者、又は負傷した者をそれぞれ死者、または負傷者とする。また、火災により負傷した後 48 時間以内に死亡したものは、火災による死者とする。

## 7 出火原因

出火原因は、発火源、経過及び着火物の 3 つに区分する。なお、昭和 44 年以降は、発火源については、電気機器に電気冷蔵庫を加え、移動可能なガス道具及び固定したガス設備をそれぞれ都市ガスを用いるものと液化石油ガスを用いるものとに細分するとともに、着火物については、ガス類に液化石油ガスを加えた。

## 火 災 概 況

区分		令和元年	令和 2 年	令和 3 年	前年比
項目					
火 災 件 数 (件)		126	125	111	△14
火災種別	建 物 (件)	51	65	49	△16
	林 野 (件)	3	2	2	
	車 両 (件)	18	21	9	△12
	船 舶 (件)				
	航 空 機 (件)				
	そ の 他 (件)	54	37	51	14
焼損棟数	合 計 (棟)	97	106	72	△34
	全 焼 (棟)	27	36	20	△16
	半 焼 (棟)	13	3	5	2
	部 分 焼 (棟)	33	24	21	△ 3
	ぼ や (棟)	24	43	26	△17
焼損面積	建 物 (床㎡)	3,633	4,616	2,305	△2,311
	建 物 (表㎡)	399	369	173	△196
	林 野 (a)	2	23	10	△13
	車 両 (台)	23	31	14	△17
罹 災 世 帯 数 (世帯)		40	54	41	△13
罹 災 人 員 (人)		98	121	76	△45
死傷者	死 者 (人)	6	2	2	
	負 傷 者 (人)	9	20	21	1
損 害 額 (千円)		369,700	315,268	100,978	△214,290

市 町 村 別 火 災 概 要

種 別		市町村別							
		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	阿 見 町	利 根 町	河 内 町	美 浦 村	合 計
合 計		34	20	26	14	6	6	5	111
建 物		13	10	8	10	5	2	1	49
林 野		1	1						2
車 両		1	2	3	2		1		9
船 舶									
航 空 機									
そ の 他		19	7	15	2	1	3	4	51
建 物 焼 損 棟 数	合 計	17	16	11	20	5	2	1	72
	全 焼	3	5	4	7		1		20
	半 焼	2	1		2				5
	部分焼	5	5	5	4	2			21
	ぼ や	7	5	2	7	3	1	1	26
建 物 焼 損 面 積 (㎡)	床面積	344	828	510	437	4	182		2,305
	表面積	10	84	29	46	4			173
林 野 (a)			10						10
車 両 (台)		1	3	6	3		1		14
火災損害額 (千円)		32,826	27,536	15,996	11,866	347	12,407		100,978
罹 災 状 況	世 帯	5	11	12	10	2	1		41
	人 員	13	16	20	21	5	1		76
死 傷 者	死 者		2						2
	負 傷 者	5	6	4	2	3		1	21

### 月別火災種別

種別	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
建物火災	2	8	5	6	3	2	4	1	8	1	1	8	49
林野火災				1					1				2
車両火災	1	2	1	1	1			2	1				9
船舶火災													
航空機火災													
その他の火災	13	12	2	4	1	5	3	4	2	2	1	2	51
合計	16	22	8	12	5	7	7	7	12	3	2	10	111

### 曜日別火災種別

種別	曜日別							合計
	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
建物火災	9	9	7	8	4	7	5	49
林野火災					2			2
車両火災	2	4	2				1	9
船舶火災								
航空機火災								
その他の火災	11	6	2	6	10	10	6	51
合計	22	19	11	14	16	17	12	111

### 時間帯別火災種別

種別	時間帯別																							計	
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		23
建物火災	1	4	1	1	1	2	2	2		2	2	3	3	4	4	1	3	1	2	2	4	2	1	1	49
林野火災												1	1												2
車両火災	1									1	3		1	1					2						9
船舶火災																									
航空機火災																									
その他の火災		1						1		2	4	8	5	5	3	6	2	2	3	4	2	1			49
合計	2	5	1	1	1	2	2	3		5	9	12	10	10	7	7	5	3	7	6	6	3	1	1	109

※不明2件

火災種別出火原因

火災種別 出火原因	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機 火災	その他の 火災	合計
たばこ	3					4	7
こんろ	6					1	7
こんろ(天ぷら)							
かまど							
風呂かまど							
炉	1						1
焼却炉	1		1			1	3
ストーブ	3						3
こたつ	1						1
ボイラー							
煙突・煙道							
排気管			1				1
電気機器	3		1				4
電気装置	2		1			1	4
電灯・電線等の配線	1					8	9
内燃機関							
配線器具	3						3
火遊び							
マッチ・ライター	2						2
たき火	2	1	1			2	6
溶接機・溶断機	1						1
灯火	1						1
衝突の火花							
取灰							
火入れ	1					9	10
放火	2					3	5
放火の疑い	2	1				11	14
その他	11		4			11	26
不明	3						3
合計	49	2	9			51	111

過去5年間の火災原因状況

順位 年・件数	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
平成29年 総件数 103件	放火 (疑い含む) 17件	マッチ・ライター 8件	こんろ 6件	火入れ 6件	電灯等の配線 6件
平成30年 総件数 123件	放火 (疑い含む) 38件	たき火 12件	電灯等の配線 10件	マッチ・ライター 9件	火入れ 7件
令和元年 総件数 126件	放火 (疑い含む) 32件	火入れ 12件	たばこ 9件	電灯等の配線 9件	配線器具 7件
令和2年 総件数 125件	放火 (疑い含む) 23件	火入れ 8件	電気機器 6件	配線器具 6件	こんろ 電灯等の配線 5件
令和3年 総件数 111件	放火 (疑い含む) 19件	火入れ 10件	電灯等の配線 9件	たばこ こんろ 7件	こんろ 5件

過去10年間の火災件数推移

種別 年別	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 の 火 災	合 計
平成24年	59	4	10			17	90
平成25年	58	8	12			28	106
平成26年	57	4	19			20	100
平成27年	52	7	18			22	99
平成28年	34	1	7			22	64
平成29年	56	3	8		1	35	103
平成30年	45	5	9			64	123
令和元年	51	3	18			54	126
令和2年	65	2	21			37	125
令和3年	49	2	9			51	111

救 急

*INASHIKI FIRE PROTECTION DISTRICT*



## 各種救急訓練・講習会の紹介

令和3年中の管内での救急出動件数は12,880件(593件増)搬送人員については11,794人(578人増)となり、救急出動件数、搬送人員ともに対前年比で増加しました。

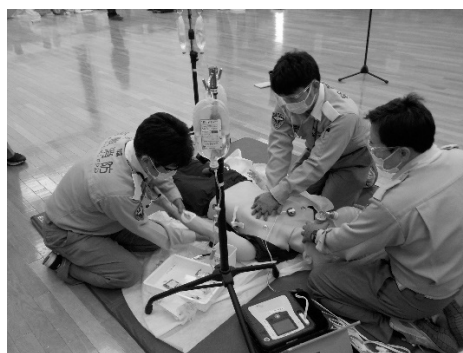
令和2年は、救急出動件数及び搬送人員が、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、不要不急の外出自粛などが要因で減少したと考えられるが、令和3年は徐々に新型コロナウイルス感染症への警戒心が薄れてきたのではないかと考えられます。

### <基本特定行為再講習会>

本講習会は、消防本部管内の救急救命士再教育を目的とした講習会であり、病院前救護に必要な医学的知識と技能の維持に努め、資質の向上を図っています。



【実技訓練の様子】



【シミュレーションの様子】

### <救急活動・基本特定行為講習会>

本講習会は、救急救命士資格取得者が救急隊員及び救急救命士として救急業務を行うために専門的かつ必要な知識及び技能を習得し、職務能力の向上に努め救急業務に従事する人材を育成する為、講習会を開催しました。



【医師による講義の様子】



【デモンストレーションの様子】



【実技訓練の様子】



【フィードバックの様子】

## ドクターヘリ及びドクターカーの紹介

<ドクターヘリ> 千葉県ドクターヘリは、茨城県と千葉県の共同利用事業として、平成 16 年 7 月から当広域圏で運航が開始され、茨城県でも平成 22 年 7 月から独自のドクターヘリが運航開始されました。また、茨城県防災ヘリによるドクターヘリの補完的運航が令和元年 7 月から運航開始されました。

<ドクターカー> ドクターカーは、平成 22 年 9 月 1 日から筑波メディカルセンター病院保有の乗用車型ドクターカーが当広域圏で運行開始され、翌年の平成 23 年 9 月 9 日から日本医科大学千葉北総病院保有のドクターカーも運行開始されました。

また、平成 28 年 11 月 7 日から土浦協同病院保有の救急車型ドクターカーも運行開始されました。

### ○千葉県ドクターヘリ

#### 基地病院

日本医科大学千葉北総病院

### ○茨城県ドクターヘリ

#### 基地病院

水戸済生会総合病院

国立病院機構水戸医療センター

※2 病院が交代制で運用

### ○茨城県防災ヘリ

#### 基地病院

筑波大学附属病院

筑波メディカルセンター病院

総合病院土浦協同病院

※3 病院が交代制で運用



令和 3 年の運用数

	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合 計
千葉Drヘリ	6	13	12	0	10	4	4	49 回
茨城Drヘリ	1	3	2	6	0	2	2	16 回
防災ヘリ	0	1	0	0	0	0	0	1 回
合 計	7	17	14	6	10	6	6	66 回

### ○日医千葉北総病院



### ○筑波メディカルセンター病院



### ○土浦協同病院



令和 3 年の運用数

	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村	合 計
北総Drカー	3	1	0	0	0	0	0	4 回
筑波Drカー	1	2	1	3	0	0	0	7 回
土浦Drカー	0	0	0	0	0	0	0	0 回
合 計	4	3	1	3	0	0	0	11 回

## 救命講習会の紹介

令和3年は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、救命講習会を原則中止としていました。ただし、各種資格取得に必要または、就業目的である方は受講可能とし、感染対策を徹底して、コロナ禍での講習会を実施しました。

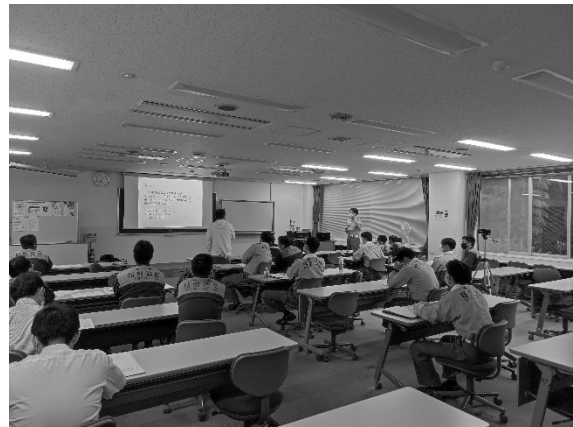
## 稲敷地区メディカルコントロール協議会の紹介

「稲敷地区メディカルコントロール協議会」（略語：稲敷地区MC協議会）とは稲敷地区住民の救命率の向上を図るため、消防本部、医療機関及び地域保健所等と連携し、病院前救護に係る諸課題を協議し、救急業務の円滑な推進を図ることを目的に活動しております。

### 協議会の活動

#### ・指示・検証部

稲敷地区MC協議会の指導医師が、心肺停止、特異な救急案件及び指令課員が行う口頭指導について、医学的な立場から検証し、救急隊員に指導、助言等を行っています。また、救急隊が行うシミュレーション訓練にも参加し、病院前救護の質を担保していただいております。



事後検証会風景

#### ・教育研修部

教育研修部会議において、医師、看護師等の病院関係者及び救急隊員で年間の教育コースを決定し、一次救命処置講習(BLS)、二次救命処置講習(ICLS)、病院前外傷処置講習(JPTEC)、脳卒中病院前救護講習(PSLS)、多数傷病者対応講習(MCLS)等を企画立案して技術の向上を図っています。

市町村別救急出動状況(件数)

市町村別 事故種別		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	阿 見 町	利 根 町	河 内 町	美 浦 村	圏 外	合 計
火災		32	23	20	17	7	3	4	1	107
自然災害		1								1
水難事故		2	1	2	3	2	3	3		16
交通事故		218	218	127	157	35	36	34	6	831
労働災害		27	30	33	25	5	3	10		133
運動競技		18	19	5	8	2	2			54
一般負傷		558	530	271	284	113	57	93		1,906
加害事故		20	9	6	3	1	4	6		49
自損行為		33	30	13	13	6	3	13		111
急病		2,353	2,465	1,389	1,340	530	315	413	3	8,808
その他	転院	242	161	128	139	18		70		758
	医師搬送									
	資機材搬送									
	その他	24	22	18	14	9	2	17		106
計		3,528	3,508	2,012	2,003	728	428	663	10	12,880

月別救急出動状況(件数)

月別 事故種別		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
火災		21	19	6	10	7	7	6	7	7	2	5	10	107
自然災害			1											1
水難事故				1		1	4	3	2		3	2		16
交通事故		55	65	57	64	88	70	70	55	67	84	81	75	831
労働災害		8	10	7	18	9	11	7	22	15	9	11	6	133
運動競技		2	1	2	4	8	6	9	4	1	7	7	3	54
一般負傷		168	131	147	162	159	135	166	176	153	168	156	185	1,906
加害事故		3	5	6	3	5	3	3	4	3	2	2	10	49
自損行為		5	9	11	14	10	11	11	9	5	4	12	10	111
急病		752	559	662	679	668	701	913	853	687	739	723	872	8,808
その他	転院	52	60	64	69	59	62	63	66	60	48	79	76	758
	医師搬送													
	資機材搬送													
	その他	19	8	7	3	7	13	7	15	12	7	5	3	106
計		1,085	868	970	1,026	1,021	1,023	1,258	1,213	1,010	1,073	1,083	1,250	12,880

事故種別年齢区分搬送状況(人員数)

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
新生児							2			9	19	30
乳幼児				18			110			270	13	411
少年	1			75	2	33	55		2	174	8	350
成人	11	1		475	94	20	288	29	61	2,245	251	3,475
老人	7		2	237	35	1	1,328	11	15	5,403	489	7,528
計	19	1	2	805	131	54	1,783	40	78	8,101	780	11,794

事故種別傷病程度別搬送状況(人員数)

事故種別 程度区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
死亡				6			4		17	206		233
重症	3		1	26	20		74	5	15	699	206	1,049
中等症	5		1	175	52	15	732	8	21	3,864	496	5,369
軽症	11	1		596	59	39	972	27	25	3,332	78	5,140
その他				2			1					3
計	19	1	2	805	131	54	1,783	40	78	8,101	780	11,794

### 救急隊員の行った応急処置件数調

事故種別	応急処置区分 対応象人処置員置	止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫		心肺蘇生		酸素吸入	気道確保				保温	被覆	
					うち自動	うち自動	*1	*2		*3	*4					
急病	8,084	27	26	164	11	7	281	121	1,513	386	0	3	63	0	5,752	38
交通事故	804	20	410	5	1	1	8	3	54	9	0	0	2	0	402	120
一般負傷	1,781	99	154	4	2	1	15	4	79	21	0	7	3	3	1,101	321
その他	1,098	21	75	16	1	0	28	13	270	33	1	0	5	2	739	68
計	11,767	167	665	189	15	9	332	141	1,916	449	1	10	73	5	7,994	547

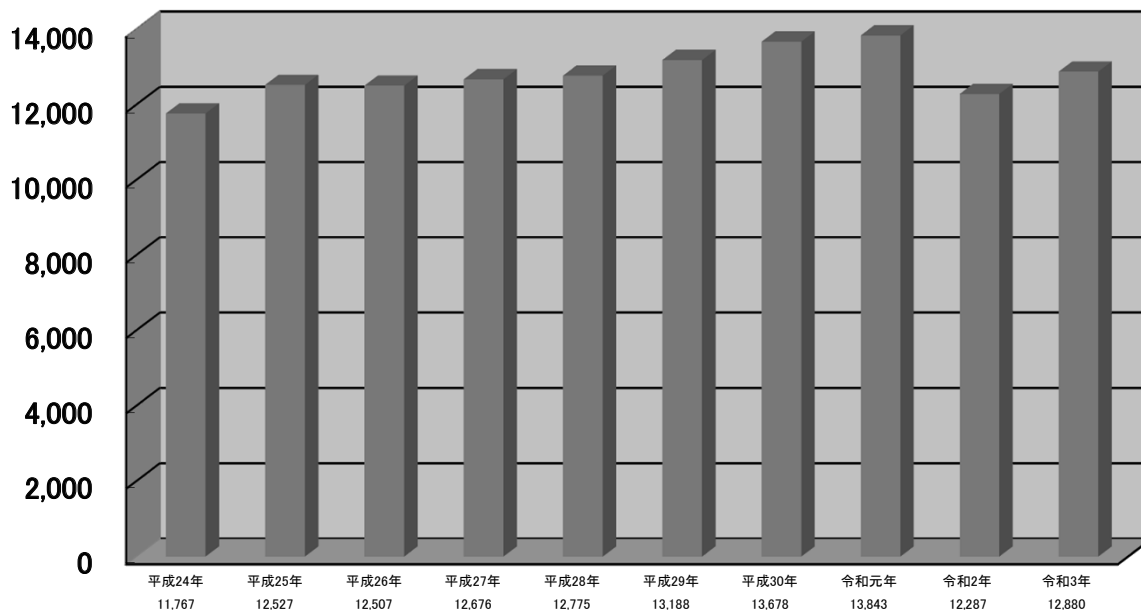
事故種別	応急処置区分	在宅療法継続			除細動	静脈路確保 (輸液)	薬剤投与	その他処置	血圧測定	聴心音等の聴取 器による音	酸度の飽和測定	心電図測定	シヨツク患 者への輸液	血糖測定	エトペン与	ブドウ糖与
		*A	*B	*C												
急病	104	10	20	83	40	220	124	7,721	7,564	6,204	7,724	5,613	62	123	0	17
交通事故	0	0	0	0	2	3	3	783	779	588	792	185	0	0	0	0
一般負傷	10	0	3	7	2	10	5	1,742	1,686	1,141	1,739	466	4	3	0	0
その他	17	8	0	11	1	17	10	1,018	1,008	740	1,051	516	6	3	0	0
計	131	18	23	101	45	250	142	11,264	11,037	8,673	11,306	6,780	72	129	0	17

- \*1 用手及び経鼻エアウェイ等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載
- \*2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去を行った件数を内数として記載
- \*3 救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載
- \*4 救急救命士が気管内挿管を行った件数を内数として記載
- \*A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数を内数として記載
- \*B 気管切開孔又は気道瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数を内数として記載
- \*C \*A・\*B以外の傷病者に対し応急処置等を行った件数を内数として記載

市町村別救急出動状況推移

市町村名	年別 区分	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和
		24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年	元 年	2 年	3 年	
龍ヶ崎市	出場件数	3,113	3,322	3,297	3,094	3,248	3,304	3,526	3,667	3,226	3,528	
	搬送件数	2,891	3,105	3,064	2,856	2,967	3,022	3,213	3,311	2,867	3,178	
	搬送人員	2,933	3,155	3,111	2,891	3,009	3,048	3,253	3,337	2,881	3,198	
牛久市	出場件数	3,012	3,100	3,204	3,418	3,351	3,582	3,650	3,585	3,240	3,508	
	搬送件数	2,807	2,886	2,989	3,129	3,087	3,177	3,294	3,301	2,995	3,218	
	搬送人員	2,849	2,933	3,021	3,184	3,119	3,216	3,327	3,342	3,024	3,236	
稲敷市	出場件数	2,102	2,299	2,211	2,227	2,328	2,391	2,297	2,334	2,021	2,012	
	搬送件数	1,961	2,142	2,049	2,084	2,164	2,198	2,074	2,091	1,806	1,820	
	搬送人員	1,996	2,182	2,088	2,118	2,187	2,226	2,097	2,123	1,828	1,834	
阿見町	出場件数	1,736	1,872	1,917	2,029	2,057	2,121	2,308	2,245	2,061	2,003	
	搬送件数	1,592	1,711	1,723	1,862	1,874	1,946	2,113	2,051	1,901	1,818	
	搬送人員	1,621	1,737	1,752	1,888	1,906	1,989	2,139	2,087	1,908	1,836	
利根町	出場件数	663	636	693	672	678	656	748	772	673	728	
	搬送件数	616	589	634	619	622	598	684	702	601	666	
	搬送人員	625	596	647	624	626	604	688	702	604	669	
河内町	出場件数	446	495	468	487	396	388	430	488	429	428	
	搬送件数	417	456	427	442	349	360	383	453	398	399	
	搬送人員	426	461	430	443	352	364	388	460	399	402	
美浦村	出場件数	680	797	705	741	710	739	714	744	633	663	
	搬送件数	645	757	665	692	686	682	654	682	565	610	
	搬送人員	655	767	673	698	693	686	661	691	572	611	
圏外	出場件数	15	6	12	8	7	7	5	8	4	10	
	搬送件数	11	6	9	3	4	1	4	4	0	8	
	搬送人員	12	8	9	3	4	1	4	4	0	8	
総合計	出場件数	11,767	12,527	12,507	12,676	12,775	13,188	13,678	13,843	12,287	12,880	
	搬送件数	10,940	11,652	11,560	11,687	11,753	11,984	12,419	12,595	11,133	11,717	
	搬送人員	11,117	11,839	11,731	11,849	11,896	12,134	12,557	12,746	11,216	11,794	

### 救急出動件数推移



### 救命講習実施状況

普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ		上級救命講習		その他の講習	
回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
20	70	1	2	0	0	0	0	10	42

救命入門コース		合計	
回数	受講者数	回数	受講者数
0	0	31	114

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、講習会の実施を制限していた為、今年度は、救命講習会の実施件数が減少しています。

## 救急蘇生の状況

救急搬送された心肺機能停止傷病者に関する統計です。

### 心肺機能停止の症例

令和 2 年中

全心肺停止	374 件	
蘇生施行事案	374 件	
心原性 297 件	目撃あり	98 件
	目撃なし	199 件
非心原性	77 件	

令和 2 年中

心原性でかつ心肺機能停止時点の目撃あり		
98 件	1 ヶ月生存	
	9 件	生存率 9.1%

### 心肺機能停止の症例

令和 3 年中

全心肺停止	362 件	
蘇生施行事案	362 件	
心原性 270 件	目撃あり	86 件
	目撃なし	184 件
非心原性	92 件	

令和 3 年中

心原性でかつ心肺機能停止時点の目撃あり		
86 件	1 ヶ月生存	
	4 件	生存率 4.6%

#### <非心原性に属するもの>

- ・ 外因による死亡はすべて非心原性とする。  
外傷、縊頸、窒息、溺水、薬物中毒等
- ・ 内因による死亡のうち、不全臓器や疾患が特定できるもの。  
中枢神経系：脳血管障害、くも膜下出血、脳腫瘍等、呼吸器系：気管支喘息、肺炎等  
大血管系：大動脈解離・破裂、肺動脈血栓塞栓症等、消化器系：消化管出血、肝不全等
- ・ 悪性腫瘍の末期状態      ・ 乳児突然死症候群

#### <心原性に属するもの>

- ・ 明らかな心疾患が原因のもの
- ・ 非心原性以外のもの
- ・ 老衰は除外診断の心原性とする。
- ・ 浴槽内での心停止は明らかに溺死と判断できる場合を除き、除外診断に基づく心原性とする。



# 管内消防団

*FIRE BRIGADE Ryugasaki Ushiku Inashiki Ami Tone Kawachi Miho*



## 管内消防団の状況

令和4年4月1日現在

区 分		龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	阿見町	利根町	河内町	美浦村
発足年月日		S29. 3. 20	S29. 4. 1	H17. 3. 22	S30. 4. 1	S30. 1. 1	S38. 4. 1	S41. 3. 14
組 織 体 制	団 長	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名
	副 団 長	2名	4名	16名	2名	4名	3名	2名
	指 導 員	6名	2名	13名	7名	2名	7名	3名
	分 団 長	11名	28名	80名	15名	15名	14名	12名
	副分団長	7名	0名	80名	15名	15名	16名	0名
	部 長	32名	29名	80名	17名	15名	16名	12名
	班 長	98名	103名	137名	35名	41名	31名	25名
	団 員	303名	281名	619名	169名	75名	182名	158名
消防団員総数		460名	448名	1026名	261名	168名	270名	213名
車 両 装 備	普通ポンプ車	12台	7台	10台	16名	6台	0台	6台
	小型動力ポンプ	23台	1台	0台	15名	9台	1台	0台
	小型動力積載車	22台	22台	76台	0台	9台	14台	13台
	多機能消防車	0台	1台	0台	1名	0台	0台	0台
	司令車等	2台	2台	4台	1名	1台	2台	1台
年 齢 別 状 況	20歳未満	0名	1名	0名	1名	2名	1名	0名
	20歳～25歳未満	10名	7名	46名	8名	10名	7名	6名
	25歳～30歳未満	46名	13名	100名	8名	16名	22名	21名
	30歳～35歳未満	33名	33名	186名	22名	16名	34名	46名
	35歳～40歳未満	53名	64名	283名	42名	11名	37名	57名
	40歳～45歳未満	87名	84名	212名	54名	37名	50名	49名
	45歳～50歳未満	107名	94名	124名	66名	37名	60名	24名
	50歳～55歳未満	62名	75名	50名	43名	22名	30名	6名
	55歳～60歳未満	32名	42名	18名	8名	7名	19名	3名
60歳以上	30名	35名	7名	9名	13名	10名	1名	
勤 続 年 数 別 状 況	5年未満	82名	64名	192名	43名	38名	24名	44名
	5年～10年未満	116名	94名	254名	43名	39名	46名	61名
	10年～15年未満	53名	79名	258名	45名	33名	41名	47名
	15年～20年未満	71名	59名	175名	50名	16名	50名	31名
	20年～25年未満	76名	69名	96名	44名	14名	52名	19名
	25年～30年未満	34名	56名	39名	24名	17名	44名	6名
30年以上	28名	27名	12名	12名	11名	13名	5名	

### 各消防団の事務局

消防団別	事務局の位置等	
龍ヶ崎市消防団	龍ヶ崎市 3710 番地	危機管理課 消防グループ
牛久市消防団	牛久市中央 3 丁目 15 番地 1	市民部 防災課 消防 G
稲敷市消防団	稲敷市犬塚 1570 番地 1	行政経営部 危機管理課 消防防災係
阿見町消防団	稲敷郡阿見町中央 1 丁目 1 番 1 号	町民生活部 防災危機管理課 消防係
利根町消防団	北相馬郡利根町大字布川 841 番地 1	防災危機管理課 消防交通係
河内町消防団	稲敷郡河内町源清田 1183	総務課 交通防災係
美浦村消防団	稲敷郡美浦村大字受領 1515	経済建設部 生活安全課 消防防災係

名 称 稲敷消防年報 2022

発 行 稲敷広域消防本部

茨城県龍ケ崎市3571番地の1

☎ 0297-64-3743

編 集 消防本部総務課

発行年月 令和4年8月

印 刷 株式会社アサヒビジネス

## 所在地一覧



署所名	所在地	電話番号
稲敷広域消防本部	〒301-0837 龍ヶ崎市3571番地の1	TEL 0297-64-3743(代表) FAX 0297-64-3746
龍ヶ崎消防署	〒301-0822 龍ヶ崎市1759番地	TEL 0297-62-5131 FAX 0297-62-5138
新河分署	〒300-1312 稲敷郡河内町長竿5765番	TEL 0297-84-0119 FAX 0297-84-3192
西部出張所	〒301-0007 龍ヶ崎市馴柴町1区23番地の2	TEL 0297-66-0119 FAX 0297-66-8473
牛久消防署	〒300-1233 牛久市栄町4丁目1番地	TEL 029-873-0119 FAX 029-871-4181
東部出張所	〒300-1288 牛久市久野町798番地1	TEL 029-875-0119 FAX 029-875-0219
いなほ消防署	〒300-0507 稲敷市犬塚1570番地2	TEL 029-892-0119 FAX 029-892-1239
桜東分署	〒300-0737 稲敷市上須田355番1	TEL 0299-79-3720 FAX 0299-79-3726
阿見消防署	〒300-0333 稲敷郡阿見町若栗3337番地	TEL 029-887-0119 FAX 029-888-0201
利根消防署	〒300-1622 北相馬郡利根町布川2073番地	TEL 0297-68-3755 FAX 0297-68-8331

